

我が青春の記

16期 清水 重仁

さて、「やまざと」始めて以来の大長編寄稿です。私、「電気科の重仁」と初対面でインプットしましたので、まさかこれだけの文才と根気がありとは存じませんでした。大阪外大と天秤にかけて云々…を納得。

催促に催促を重ねても出てこぬ原稿多し…なので、喜んで掲載します。私も随分と「記録魔」と言われ、記憶も定かの方と自認しておりますが、さすがに「日記」の迫力…忘れていた当時の事を克明に思い出しました。

ワゲルを軸にしながら、70年前半の青春群像が描き出されている…小さな世界の中での一コマを綴りながら、確かにその時代を映し出している秀作です。

さて、皆様も、かつてBHに載せようとしてそのままになってしまった原稿とか、隠れたエッセー等ありましたら、どうぞお寄せ下さい。もちろん新作も歓迎です。

拝啓

本日も梅雨明けを思わせる暑い日差しが続いておりますが、いかがお暮らしてでしょうか。

しばらくOB会誌への原稿作成（我が青春の記？）から遠ざかっておりましたが、5月の山小屋酒場の折りにも局長より叱咤激励された事

もあり、その後ぼちぼちであります。手を加えて、何とか体裁を整えるに至りました。

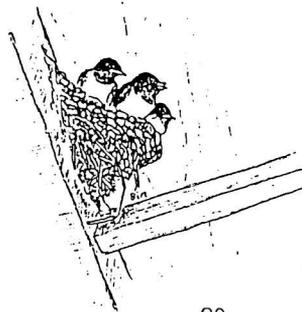
こんなものを発表しても何になる、又、どれだけの人が読んでくれるのだろうか等と、なかなか逡巡の域を出ないのでありますが、出すべきとお言葉も頂戴いたし、自分としても投稿の決心をしました。何度も推敲を重ねておきますと、人間とは益々欲張りになってくるもので、あれもこれもという具合になり、この辺で潮時と判断しました。

結果的に余分な事が多かったせいか、かなりの量になってしまいました。会誌にこれだけのスペースがあるのかどうかも分かりませんが、できれば全編を一度に掲載して頂きたいと考えます。（恥は1回だけにしたい？）

これでしばらくは原稿の要請もありません。

敬具

P.S. 今回たまたま日記という手段で、主に部活動を中心に学生時代を振り返ってみました。省略した所や書ききれなかった部分も含めて、かなり膨大ともいえる時間を部活動に費やしていたこと（当然予想はされるのだが）が、改めて分かりました。なんとか見掛け上は学業（こちらの手段は問わず）との両立は為されていたのでしようが…。又、何といってもこれはノンフィクションなのです。



この度、15期高村さんを偲んでということで寄稿する際、約20年ぶりに古い日記を紐解く機会を得ました。部分的に抜粋しただけでしたが、その後、極めて少数の方々からではありますが少なからずの反響をいただきました。中には私の顔には似合わないこととの、もっともなご意見も頂戴しております。

さて~~この度~~^{いつ}どこで私が口走ったか記憶も定かではありませんが、気がつく^と日記をもとに「我が青春の記」などという大それた題名のもとで、OB会誌への寄稿をすることになっていったようです。本来、日記なるものは他人に公開するような代物ではないと思えますし、そういう行為は全くもって自己満足あるいは懐古趣味の極みにとられそうです。しかしながら金沢を離れてちょうど20年を経過することも相まって、10年では早すぎ30年ではほとんど記憶から消えそうだと判断から、思い切って筆をとることにしました。

という訳で約5年間（ただし後半2年間は、もはや日記ではなくほぼ1年を振り返っていわば年記のようにになっている）の日記をどのように料理しようかと思案しましたが、単純に1年度毎に編集することにします。自他共に支障のない範囲で、概ね部活動を中心としたものになるでしょうが、とりあえず以下のようなタイトルを設定してみます。

1. プロローグ
2. 入部篇 (71年度、S46. 4～S47. 3)
3. 中堅篇 (72年度、S47. 4～S48. 3)
4. リーダー篇 (73年度、S48. 4～S49. 3)
5. 執行部～退部～OB篇 (74、75、76年度、S49. 4～S51. 9)
6. エピローグ

OB会誌の貴重なページを借用させていただくにあたり、いくつかの時系列的な出来事のできるだけ原文に忠実に、かつ、よけいな部分はやむを得ず省略という手順を踏んで書き綴ってみます。原文引用により敬称略の様などころもあり、また、内容によっては特定の読者の気分を害する場合もあるかもしれませんが、時効ということでもよろしく願います。山行などのメンバーは会誌によっても記録されていますが、当方の日記にも記録がある限り、くどいようですがその都度記述しました。コースも大体は書いてありましたができるだけ省略します。

当然ながら大半の登場人物はワンダーフォーゲル部については16期の前後数年の範囲内に留まってしまうでしょう。しかしながら予想される幅広い読者の皆さんには、当時のワンダーフォーゲル部という集団で多感な時期を共に過ごした仲間たちの意識、馬鹿さ加減、純情さなどの一片でも改めて感じていただいたり、又、ご自分の眠ってしまった記憶の一回路でもオンにしてもらえれば、本望だと考えます。

ここまできて何か非常に堅苦しいことを書いているようで、まさに顔に似合わないといわれそうな気分になってきました。前にも述べましたが支障の無い範囲での日記の公開ではありますが、ある程度の羞恥心を伴いながらそろそろプロローグへはいりましょう。

プロローグ

S46. 4に金沢大学工学部電気工学科に入学し、学生証番号は71-297であったと思う。本大学と大阪外大とを天秤にかけての選択でしたが、将来に向けてのはっきりとした展望もない者にとっては理系でも文系でも、どちらでもよかったと思います。ただ大都会というものが性に合わなかったようで、大阪のほうは大学周辺も薄汚い印象でした。一方、金大の当時のキャッチフレーズの1つは、城の中に校舎があるということだったし、事実それに惹かれた面もあり、又、元々ほとんど日本海側の気候に生まれ育った私には金沢の風土に違和感なくとけ込めると感じたのだろうと思います。結局は6年間在学することになりました。ここで余談ですが、6年も居ながら、又、こういう部に属しながらもその間能登には一回も行ったことがなく、恐ろしいことに現在も同様の状況です。

さて今回、ワンダーフォーゲル部入部篇として書き進めるわけですが、この段になってふと思考の中に湧き、引っかかってしまったことがあります。一般的な企業などにはいわゆる社是や経営理念なるものが掲げられているのが普通ですが、はたして金大ワンダーフォーゲル部には活動の目的や理念があったのか、あるのかということ。今さら何を言っているのかとほとんど情けない気持ちで手元にある部誌をいくつかめくりました。その結

果、ベルクハイム35周年記念上巻の部の規約紹介の所で第3条に目的が掲げられていました。こういった条文あるいは法律は現在の生活でも同様であると思いますが、普段はほとんどの人にとっては必要にならなければ全く見向きもしないか、目を通したとしても記憶できる代物ではありません。この機に改めて、いや、まるで初めてのようにその目的に眺め入りました。

第三条（目的） 大自然に親しむことにより、教養を高め、体力を錬磨すると共に、団体生活を通して正しい人間の交わりを学び取り、青春を謳歌し、もって祖国に育まれた自然の美しさを見だし、又、ワンダーフォーゲル活動の啓蒙をその目的とする。

ついでながら、何冊かの国語辞典で「ワンダーフォーゲル」を引いてみました。その結果若干不揃いであるが以下のようにになりました。「ワンゲル」についてはワンダーフォーゲルの略ということで記載されています。

1. 健康のため、また自然に親しむために、徒歩で山野を越えて旅行すること。渡り鳥運動。
2. 山野を歩いて旅行する青年の団体。徒歩旅行をする人。
3. グループで山野を巡り歩き、心身を鍛えるスポーツ。
4. 登山を主とする大学などのサークルの称。

上文中、徒歩、山野、旅行、団体、グループなどの単語が目立ちます。私が勝手に総合的に解釈するとワンゲルとは、



仲間と共に、主として山野を徒歩で旅行することにより自然に親しみ、ひいては健康な心身を形成すること。 などとなるのでしょうか。

さて再度じっくり、第三条を眺めると終わりの部分のワンダーフォーゲル活動の啓蒙も目的のさほど小さくはない一つの柱ととらえられるようです。すなわち解釈文と連動させると、仲間と共に、主として山野を徒歩で旅行することにより自然に親しみ、ひいては健康な心身を形成することを啓蒙するとなります。この目的が現在の時代背景とマッチするかは、はなはだ疑問ですが今では啓蒙するにあたっては中高年を対象にした方が良いのではないかと思います。これは冗談として、私の関する限りのワンゲル活動において、はたして啓蒙活動があったのでしょうか。部則第4条、第4項に啓蒙活動として、映画会、キャンプ、展示会などが明示されていますが、私の記憶としてはオープン山行くらいしか思い出せず、ワンゲルの目的からすると少々お寂しい状況であったかもしれません。ただし、登山道や標識の整備、出版物の発行、記録の整理、保管なども間接的な啓蒙活動と言えなくもないでしょうが。

また近年、車でほとんどの距離を稼いでしまう山への旅行（こういうのは山登りとか登山とは厳密には言えないらしい）をくりかえす筆者等にとっては自然・環境破壊とのかねあいの気にかかる所ではあります。一昨年7月に家族で久しぶりに白山へ行った時の事です。旅行会社の小旗を先頭に何十人も登ってくる高年の人々、ゴミを平気でポイ捨てしている高校生らしきこちら大集団、定員の250%位も詰め込まなければならない室堂小屋（我々はテント持参で南竜でしたが）などの現実を目撃し、やはり時代は変わったのかと思わざるをえませんでした。まあ考えてみれば、下界で普通に生活すること自体すでに環境破壊を伴う今（特に今始まったものでもないだろうが）では、もう行くところまで行かねばならないのでしょうか。だが、たとえば自分の活動範囲を縮小し自然破壊になるので山へも行かないという人がいても不思議ではない世の中だとも思いますが。

横道に逸れっばなしで肝心の入部篇がなかなか始まりませんが、始めるためにもう1回だけ規約の中から条文を引用します。

第五条（部員） 部員の募集期間は年一回とし、毎年四月十日より三十日までとする。期間外の入部については、リーダー会の承認を必要とする。

（この記念号によればS47、12、15以降は同様の条項は第三十五条にあり）

そうなのです、私の入部時期は募集期間をかなり逸脱したもので、条項の通りリーダー会で審議してもらったのです。

振り返ってみますと入部後の私は必要最小限の活動しかしていないようで、約1年余りを長い助走期間として、ほとんど存在感なく過ごしたのです。さて、いよいよ入部篇として物語を開始します。*印文は現在において、わかる範囲での状況説明や感想を記したものです。

入部篇 (S46.4~S47.3)

昭和46年

4/7(水) しかし金沢へ行こう。どうなってもよい。もう家もあす一日だけ停っていることになった。いやこんなにセンチメンタルになる必要はない。距離的にはそんなに遠くはない。しかしどんな生活になるのであろうか。

4/12(月) 例によって先輩たちと体育館ですごす。いろいろなクラブがあってどれにするか迷ってしまう。ライフルもかっこいいが、体をうごかさないと欠点がある。ラグビーもおもしろそうであるし、登山もよいし、ヨットもヨイ。

*先輩たちとは浪人後、今回一緒に入学した虎姫高校の2人。

4/15(木) 体育の時間はいきなり体力テストだった。それによってトレーニングクラスとその他に分割するらしい。高校の時とほとんど同じ内容であった。得点合計は29点であった。確か高校時代のSPORT TESTでもその点数だったと思う。3級のはずである。4時限はなかった。

4/27(火) 昨日の学生大会も出席者の数が少なく、4.28ストライキは中止になったようだ。もちろん自分も長く出席したわけではないが。明日は我が虎姫HIGH SCHOOLの新入生歓迎コンパがかの大嶋旅館であるらしい。しかし会費が非常に高い。驚くなかれ1500円。ああもう金無い。

*大嶋旅館は、この時代、虎姫高校の金大受験宿であった。この頃、バス代30円、風呂代35円、散髪650円、家賃5500円(1回目桜町で間借り)などと記録してある。例によってコンパでは乱れて片町のレイナなどに寄って、友人の下宿で1泊。

5/9(日) しかしそろそろクラブへ入らなければならないと感じる。そうでないと4年間何もせず、ただ生きてゆくことしかできなくなってしまう。それにしてもこれだ!というクラブが見あたらない。運動系か文化系か。こんなつまらないこといつまでも悩まなければならないのだ。情けない。

5/20(木) 月日のたつのははやい。明日こそは絶対にラグビー部の門をたたく。(はずである。)しかしながら、極度の不安がつきまとう。

5/21(金) 放課後、松永さんと話をしていたら、何だかワングル部へ入りたくなった。松永さんも入る気があるらしい。明日部室へ行ってみよう。

*翌5/22の日記にはワングル部のことなど全く記述なし。

5/24(月) 松永さんとワングルへゆく。一応、卯辰山へランニング、そして体力づくりをやる。7時ごろ帰ってくる。入部可能かどうか、はっきりしていない。松永さんは、今年入れなかったら、来年入るとがんばっている。僕もそうしよう。そうなると、もし入部不可の場合は今年アルバイトで金をつくろう。自分の金で用具を買おう。ワングルも週2回。きょうのところは、たいして体にこたえない。まあまあ状態である。先輩の人もみんな親切そうであった。

*部員募集期間をとくに過ぎた状況です。今年入れなかったら来年などと、よく書いています。日記の中には経過の記述はありませんが、入部を決心するには高校の先輩でもある宇野氏(15期)の存在が大きかったのではないかと考えます。

5/26(水) ワングルの審議会へゆく。その結果一応入部が承認される。そして名前は忘れたが、ある先輩に部室でいろいろ説明を聞く。こんどの土曜日からさっそく、トレーニングで山へ行くことになっている。みんなに追いつけるように、しっかりトレーニングしなくてはならないと強く感じる。

5/31(月) 山小屋生活。まあこんなものだろうか。帰ってきて先輩にもいわれたが、少々さばりすぎたかもしれない。それともあまりにも先輩がなつっこいのか。いずれにしろ、もうこれから、一年部員の下っぱであることを頭において言動に気をつけよう

と感じた。活動自体は割合に興味もてた。

*入部の遅かった者のために、にわか仕立ての新トレを実施してもらった時のことで、確か二年生のうちの一人は高村さんだったと記憶する。全く関係のない話ですが5/28には学館前で愛用の自転車を盗まれて心底より嘆いている。

6/4(金) 合宿の結団式は明日である。途中から抜け出なければならない。少々後ろめたい気持ちがある。明日はあまり飲まないでおこう。酔いつぶれて汽車に乗れなかったとなると大変なことだからなあ。

*親戚の何かの用事で帰らなければならないと書いている。日曜日に帰沢時、ゆのくに4号がひどく混んでしんどいとしている。

6/7(月) 牧野パーティのミーティングあり。記録係になっていた。しっかりやろう。それに反し、勉強のほうはさっぱりであり、化学もとけない。

*この頃勉強をやっていない、問題が解けないなどと非常に心配し、憂えている。又、この日ザック代として4,100円出費と記録。シュラフについては大学山岳ワンゲルのためのマンスリーシュラフということで、6/30に3,940円となっており、私はいまだに愛用中。さらに地図140円、部費600円なども見かけられる。

6/19~20 きびしい。27kgだもんね。1時間歩きっぱなし、疲れた。こんどの高三郎行きは35kg。不安だ。ぶっただおれるのではないだろうか。しかし、富山県、石川県をまたにかけて歩いた。なかなかいきなものであったことよ。

*医王山における合宿トレだが、本来は6/12であり、中止になったと書いてある。

6/27(日) とにかくえらい。あんなのははじめて。オレだけが恥をかいたことがあった。忘れようにも忘れられない。しかしよくやったと思う。おかげで体中ががたがた。くそえらい。いたい。

*高三郎合宿トレのあとの全文ですが状況不明。

7/11(日) 全然あかん。物理の問題一問90分以上やっただができない。あの部分の問題は楽にできないと、もう絶望だという。あさってから白山行き。しかしこのままでよいのだろうか。もう風呂へ行くのがめんどくさいくらいなのだ。もう2週間になるか。

*勉強については相変わらずずっと悩み続けている。しかし本当に2週間も風呂に行っていなかったのだろうか。

7/16(金) 白山登山!! まあまあだった。4日間のうちにいろいろみた。雨にも降られ、雲にもかぶせられ……。御岳、穂高等かすんでみえた。国立公園にしてはあまりぱっとしなないと思った。今度は夏合宿10日間。どうなるであろうか。

*白山登山費用2000円となっている。

8/2 きょう合宿から帰って
きたわけであるが、いったい全体何が残った

のであろうか。さっぱりわからない。合宿反省会もゆううつであった。夕食を横井氏におごってもら。明日かえることに決めた。13時の汽車である。帰れると思うと気が休まる。合宿member 牧野茂春、吉本良治、大田正喜、横井昭次、石田忠篤、祖父江直久、東郷博、金森廣、清水重仁 PARTY "舞舞"

*鹿島槍などに行ったと記憶するが、こんな感想しか書いていない。そのうち、帰ってこいといわれても帰らないのに、まだまだ故郷に未練があるようだ。パーティ名の舞舞は確か金森君の発案だったはず。

9/3(金) 9月1日にこちらに来る。来てみて驚いたことに山小屋作業は中止。僕のせいかもしれない。参加人員がわずか3名だという理由からである。柏木氏にもうしわけがない。



10/14 山小屋作業のことで部室へ集合のはずであったが、集まったのは3人。16日から吉田氏と入山することになった。2人分の食料計画を作らねばならない。どうもやりにくい、2人とは。

10/15(金) 買出しの日。17日の晩から6人分となる。明日、13時30分までに駒帰へ着いていなくてはならない。兼六園下11時49分あり。駒帰からは穂積さんのバイクでゆく。明日はいろいろしなくてはならない。ラジオをもってゆき、乾電池を買い、傘をもってゆき、筆記用具を買い、駒帰まで行かねばならない。ああ、パンのへたが部室にあるはずである。渡辺氏が買っておいてくれるはずになっている。

10/21 山小屋での生活は抜群であった。大島氏、柴田氏、吉本氏、吉田氏、渡辺氏、横井氏。横井さんは今、たった一人で暮しているはずである。4回目に入山する者がいないのだ。大島氏は牌を持ってこられた。毎晩やった。飯もたくさん喰った。仕事も道を造ったし、小屋周辺の整備には目を引くものがおおいにあった。吉田氏と吉本氏はさきに下山した。兼六園下17時30分に着いた。そして後始末。

*釜で炊く飯はうまかったのだろう。以後私の活動の場として犀奥付近の比重が高いことや、近年飽きもせず山小屋酒場なるものに顔を出しているのもこのような事柄が遠因かもしれない。しかし学校では後期が始まったばかりのほうですが、5~6日も入山していてもよかったのだろうか。

10/23 クラブ総会あり。なんか陰鬱な気持ち・・・。

10/26 ロマンで竹内氏の横で打つ。結構なもうけであったと思う。

*あの辺りには、ロマン、オメガ、龍宮ホールなどがありよく行った。麻雀も日記によれば6月9日に初めて手を染めて以来、恥ずかしながら連日のように面子と共に記述あり。

Oct. 31th, Sun たばこをくわえ、ぼさあとして考えたこと。たばこは吸っても減るし吸わなくても徐々に燃えてゆく。これは時間についてもあてはまる。ぼさあとしていても、勉強しているときも、麻雀・パチンコやっているときも、なにをしても過ぎさってゆく。

Nov. 6. 1時30分から、示1で総会。なんとなくだらだら、出席者少なし。

Nov. 9. 大引越し。リヤカー2回。正司、初宿、寺脇、松永、勝島各氏の協力でひっこしをすませた。夕食をいただく。勝島宅で積む。いきなり不規則な生活がはじまった。あすのストライキあるらしい。授業どうなるかわからないが・・・。

*小立野3丁目(善光寺湯の近く)の下宿へ引越した。二食付で12,500円。リヤカーのため何人かのでやらないと、小立野台への登りはきつい。

Nov. 18. 土曜日は歓送登山がある。クラブ員全員参加らしい。70余名の名前がズラズラ書きならべてあった。ああそうだ、17日に大田氏にル・シャトウでオレともう一人の清水にコーヒーをサービスしてもらう。

Nov. 20~21 歓送登山。何か、はじめから楽天気分一杯だった。ダムから一ピッチ。帰りはばらばら。酒、しかし、3年生の女の人がついでくれたり、たばこに火をつけてくれたり、何かほろよいだった。2班、牧野、宇野、石田、北川、辻、立浪、Mr. 柴田であった。

*メニューはスキヤキだったようだ。タバコは何人かの先輩諸嬢の方々も吸っておられたと思いますが、どんな銘柄だったのでしょ。我々はハイライトが一般的だった。

Dec. 2th. 一限目文学休講。バス代損した。二限目相変わらずつらい。三限目はいつも睡眠。四限目は眠気がささない。五限目はないのだ。最近部室へ行くのがおっくうである。今日は体育のためにいったのみ。いやな気分なのだ最近。

*この頃は、クラブをやるときはやる、やりたくないときはやらないなどと書いている部分もある。

Dec. 4. 午後部会。気分悪し。7時過ぎになる。コンパ流れ。

*コンパは1年部員コンパで、次のように1週間のびたようで、会場は北限寮だった。

12/12(日) 昨日のコンパ。酔いつぶれ、ぶざまな醜態をさらした。女の子のしゃくだとようまわる。英のところで一夜を明かす。メンバー、田中正、川端、金森。朝方からつむ。そして昼頃バチンコ。そして帰る。

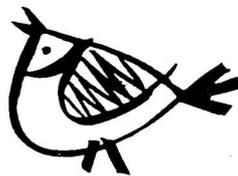
12/13 パークにて、医王山冬山ミーティング。装備係とあいなる。

12/14 成人式P. W. の装備計画のため、部室で一時を過ごす。4限目、機械科の奴らと文学の授業に出席し、勝島氏の返事をして帰る。6時30分ごろから、9時30分まで寝た。田中と小木曾がきていた。田中は京都と大阪へ来週いくらしいので、水曜日、英語と化学実験へ出席してやることにした。明日は木曜日、トレーニングがある。

*部員ではないが、代返と代出席の実態の一部。こういった中、昭和46年も終わりに近づき25日には19歳の誕生日を迎えることになる。ダラけた生活を嘆きつつ。

昭和47年

1/10 クラブミーティング、
トレーニング中止。勉強やらなくちゃならない。登山靴を購入。8500円也。



(*以後2月初めまで記述なし。)

2/2(水) クラブトレーニングかなりきびしかった。田中正がオレの下宿で沈殿すると言い出したのでしかたなく宿す。11時ごろまで眠った。その後少し学習した。彼は週刊誌に読みふけていた。

*この2月雪が全然ないと書いている。この後しばらくしてスト権が確立して、後期試験は4月になったとしている。

2/13(日) 札幌冬季オリンピックも終わった。クラブ関係では天気図をとるのを相当忘れた。これではいけないと思いながら、つい聴くのを怠ってしまう。

2/23(水) きょうのトレーニングは最高にえらなかった。校内2周、階段の登り5回・・・。ふらふらした。新二トレももうすぐ。入試ももうすぐ。春山準合宿ももうすぐ。後期試験ももうすぐ。何もかももうすぐ。最後に光陰矢の如し。

2/25(金) 夕方、春山M. あすは買出し。少しばかりの準備をする。ワカンにあまに油ぬってない。まあなんとかなるさ。

2/26(土) PM2、買出し、買出し表相当miss。パッキング、重量30kg。合宿より軽いけど冬だけあって2泊3日でも重い感じ。春山準合宿では思いやられる気がする。電信公社にてMeeting、Coffee 55円、なにか渋かった。明日は6時30分集合。バスがないもよう。早起きして歩いていかねばならない。

2/29 新二トレ Member 間所、石田、西村、村瀬

ああ、寒かった。三日間雨と雪。

よく耐えられたものである。また

もや1年生は2人のみ。

ザックも割合重い。帰りはラッセル、ラッセル。集中したのは4パ

ーティのみ。あとの3パーティは

脱出。雪は2mくらいはあったろ

うか。食料係としてmistake

多し。

*2月の初めは雪が少ないと書いた

が、不意の大雪になったのだろ

うか。



3/1 反省会の後、清家宅で積む。中野、英、林、三浦、寺内。そしてあとから酔っぱらって来た者、塚本、金森、山内、金井。朝、橋場からバスで帰る。

3/11(土) きのはバイト。10時に開始。3時30分ごろ終わった。なかなか疲れた、ポスター貼りといっても。1400円であったが、北国新聞のねえちゃんが、1500円にしてくれた。実質は123枚であった。それを140枚にしてくれ、まともや150枚にしてくれた。ええ、ねえちゃんやったぜ。きょうは、2時からトレーニング。えらかった。足ががたがたになった。

3/17(金) トレーニング。夜、横井氏宅へよる。川端、宇野、寺内、中野。ワカン確保。第7で10時30分めし。中野宿泊。川端帰るであろう。18日から当分の間、家をあける。まず辻田宅。そしてウィンバーの中。45kgもかついで歩けるであろうか。少々、自信ない。

3/30(木) 久しぶりにdiaryの門をたたく。さすが春山のだご味。いかった、いかった。しかし1年生として、また、気象係としてなんとチョンボの多いことか。Member B隊 清家雅幸、松縄宏、川端俊朗、北川隆次、中野。中でもよかったのはシゲジの壁。下りのシリ制動!!ズボンも破れた。スピードありスリルあり。ABCD隊のそれぞれが力をあわす。すばらしいことではないか。きびしい寒さ。その中でブロック積み。あれはえらかった。オレはC1で熱を出した。その次の日は個人装備だけで行った。まあ回復した。シゲジの2峰で快晴の際にSunOilを塗って日なたぼっこ。御前峰、剣が峰、大汝、七倉、四塚、釈迦、別山、シゲジ、雪の山々……。帰りにB.H.でドンチャン騒ぎ。酒と男と春歌etc。

*沈殿2日を含み9泊10日の春山準合宿。山自体は当然であるが、なんといっても養蚕小屋での最終日の一夜は楽しく、強烈な印象を受けたように思う。どれくらいの熱だかわからないが、回復はこういった状況下では若さや体力というよりも気力のなせる技か。当然ながらまだまだ未熟であったようですが何とか持ちこたえてここまでやってきたという感じでしょうか。

中堅篇 (昭和47.4~昭和48.3)

後期試験未終了のまま4/1には自動的に2年生になった。部活動については、ようやく助走期間を終え、夏以降くらいから積極的に取り組みはじめるようになったようです。

昭和47年

4/22(土)~23(日) 線形の試験、カンニング承認の感じであった。自信のあったのは一問のみであった。その後、中野、藤野、松平とで桜荘へ。その後クラブ総会。新トレの際、おれは全体の装備係とあいなってしまった。一度も装備係の経験はない。しっかりやらねばならないと痛感する。そしてP.M.6:00より石川門下ちんしょう園でコンパ。乱れ乱れてビールのぶっかけあい。一年生の奴ら、俺より年上のやつばかりだ。一浪が多かったような気がする。そして2次会、赤玉へ。そして3次会、ル・ビアンへ。

*この線形の試験で遅れていた後期試験の終了。年上よりも同年というのが正しいようです、ごめん。

4/27(木) なにもかも無気力。クラブへ行く気もない。めんどくさいの一語に尽きる。29~1日、山小屋作業、装備係。5/20~22日、新トレ、装備係やる気なし。授業をさぼってまでやらなければならないのだろうか。

4/28(金) 山小屋P.W.のpackingをようやく完了した。明日は8時30分集合である。1日の午前中に帰る。しかし、土曜日の授業はさぼることになってしまう。月曜日は化学実験がある。薬学部の女子の顔が見られるのである。

5/1(月) 山小屋を6:30出発。駒帰を9:50発バス、150円で兼六園下につく。そして、2限、3、4限と授業に出席。渡辺、中野、田中正の面々は残った。旧道と新道とに分かれて登った。おれは旧道を登り、高三郎の一峰、二峰と2年生になってはじめて登った。かの有名な山、高三郎。残雪もすこしあった。頂上でコンデンスミルクとカルピスでもって雪氷をしてたべた。しかし暑さがこたえた。いつもながら山小屋での釜でたくめしはうまかった。旧道はオレの切り開いたところもある。さすがにうれしい

気分のものである。白山、北ア、見越、奈良、大笠もみえた。そのむこうのおいずるには川端たちがいるはずであった。

Member 今村(4)、渡辺(3)、竹内(3)、塚本(2)、井上(2)、清水(美)(2)、亀田(2)、寺内(2)、中野(2)、田中(正)(2)以上

*このページにダムより見た高三郎のスケッチも一緒に書いている。

5/2(火) 成績表!! 法学、体講、数Aを除き一応すべてpassした。数Bが優であった。驚き!! 可は梶先生のEnglishと歴史学。菊池先生が良であったのは不平あり。

*結果的に優は一つだったのだろうか。

5/3 久しぶりに散髪にゆく。去年の8月以来である。少々短くしすぎたようだ。明日は帰省である。

*確かに長くしていたが9ヶ月もの間、全く手を加えなかったのだろうか。

5/8(月) 夜、川端と田中来る。エレキギターをならして帰る。明日、装備分けをしなくてはならない。何もかもめんどくさい。

*ほとんど弾けないのにギターは持っていたようだ。



5/9(火) ああ、くそう、めんどくさい。装備分けやて・・・。いやになってしまった、今日はほんとうに。むしゃくしゃする。1年生を連れて卯辰山までランニング、疲れるぜまったく。

*装備分けとは新トレのためだったのだろうか。全く記憶にない。

5/10(WED) 世界初の物理学実験。ヤング率の項目を少々前もって見ておいたのはよいのだが、場所がちがった。何という困難な実験だろう。望遠鏡のようなものをのぞいて、スケールの目盛りを読む。鏡の回転によって移動するのである。パートナーの館氏のおかげでどうにかこうにかレポート完成までこぎつけ、一発でpassしたが、時はすでに6時前であった。やっけて、全然理解できなかったもんな。今日の実験は。

*必須科目の実験の内容の一部まで書いているのはここだけである。今もこういったカリキュラムになっているのだろうか。物理実験については非常に神経質になっている。

5/18(木) ああ、疲れた。健民公園まで走って、その後装備の仕事。家へ着いたのが10時40分。もういやになる。しかし、おれは北川隆次に大きく借りがある。明日はpacking。またもや遅くなることは必至であろう。買い出しは昼休み。その前が装備分け。足はがたがた。帰りに田中正と揚子江で五目そばを食べたのみ。

*大きな借りとはなんだったのか不明。

5/22(月) おれにとっては初めての新しい新トレ。不安であったなべも順調である。2年生としてどんな仕事をしたであろうか。もっとリーダーを助けるべきであったのか。

Member P. L. 宇野潔 4年 山田廣、矢津早苗 3年 祖父江直久

2年 清水啓紀、大石恵子 1年 川村、井上、吉田、山田

高三郎旧道951まで

絹でmeeting。その後積む、公園下クラブ。祖父江、山上、井上(2)、林、井上(1)。そして若葉へ。Mr. 祖父江のおごりであった。ふらふらの状態で化学実験レポートと装備報告を書いたのであった。

*酔っぱらいながらも勉学とクラブとを両立させているのか。

5/25(木) 夜、啓さんと工学部27番教室へドンチャン騒ぎに行った。途中、監視がやってきたが何ともゆわず。

*??

5 / 3 1 (水) 本日は休み。学校の創立記念日。

6 / 5 (月) 2年生 meeting。合宿のことについて。中野と間所氏に伴うことにした。

6 / 7 (水) 水曜という日はまさに最悪の日である。数B、力学、物実とまさに頭がかんかんになる授業科目ばかりである。あしたははやくもくようです。いちじかんめはどいつごで、にじかんめはかがくです。ひるからはでんきかいろりろんのですとがあるのです。さてどうなりましょう。べつにこれとってまじめにべんきょうしていません。

*などとまだまだ続くのですがこの辺にしておきます。

6 / 1 1 (日) 10日、史上初の献血。ああ、グロテスク。その後総会。その後結団式。その後オリンピック。その後間所宅。11日、浜川とオートバイのりまわす。夜、間所宅からのビール2本、寺脇と飲む。
合宿 Member P. L. 間所 S. L. 中野 4 大田、北島 3 奥名
2 清水(美) 1 大森、平井、堂野、恵比寿

*結団式は校内でやったのだったろうか。

6 / 1 7 ~ 1 8 第1回合宿トレーニング。もうわけがわからん。びしょぬれだった。もう寝るぜ。

6 / 2 1 (水) 南ア北部 P. W. にも行くつもりです。山小屋作業にも行きたいのですが、日の関係で無理でしょう。一度はこういうことも否定しておきながら、ついには勉強を横に置いてしまうのです。これで正しいのでしょうか。大変まよう所です。

6 / 2 3 (金) しかし、あの体育の授業は頭にくる。時間を10分も延長した上、綱登りをやらせる。4mしか登れなかった。体操は5人の内に入らなかった。あれだけ幸運であった。あすの駅伝大会・・・、果たしてどんな結果になることやら。

6 / 2 4 ~ 2 5 駅伝大会!! 総合4位。優秀選手は大森であろう。相当苦しかった。そこでビールは5本。コンパ代金300円。間所宅でスキヤキコンパ。途中で間所氏から1000円出費でビール追加。女達もよく飲んだ。大田氏もいた。平井と大森は睡眠。堂野、中野、奥名・・・は積む。朝の5時までやった。そして眠る。起きたのが10時30分。帰宅して寝た。

最近では山へ行くのに何か情熱的なものを感じなくなるようになる。ただの行きたいという気持ちだけであるが。それは1年生諸君を下に控えているからかもしれない。

6 / 2 6 (月) 最近はいい天気が続く。貯金を5000円おろす。そのうち今日は3500円使った。内訳は 1. ニッカ 2. 合宿トレーニング費 3. 地図代
4. 食費 5. 交通費 となっている。

6 / 3 0 (金) packingの日。どうもいやだ。団装が少しも回ってこないのである。これもほんとうに困ったことである。石をつめて、ああ、30kgにするのである。ばからしいというか、こっけいである。明日は雨になるかもしれない。いやだなあ。

7 / 3 (月) 7月1日 金沢-駒帰-B. H. 下 7月2日 B. H. 下-高
三郎新道-989 peak-金沢

1日、ダムをすぎたところで2500円ひろった。それで、中野、間所、奥名の各人と宝生会館(宇野氏の同行)で、そして銀ブラメンバーだけで奥名氏宅でのむ、くう。寿司3000円・・・。10時すぎかな、横井氏登場。のんでもらいます。横井氏の部屋で3人が寝かせてもらった。

*お金をひらうのも珍しい。まさかワングル部員の誰かのお金ではなかったでしょうね。

7 / 1 0 (月) クラブで遅くなっておばさんにいやな顔をされた。正当な理由はあるのだ。オレもいつも精一杯早く帰ってくるようにしているのだが。

*クラブだけではなく、日頃の生活も不規則で10月末に引越越しすることになる。

7/11(火) この数日は梅雨前線の盛り返しで全国的に大荒れに荒れている。日本の上に梅雨前線、そして太平洋とシナ海には4つの台風が存在する。ほんとうに奇怪な天気である。夕食を食ってからトレーニングにいった。腹にぐっとこたえた。そして電通でコーラを飲んだ。間所氏は中野と大森の代金をもつ。その後、Leader会らしきものを観まして、ブラブラ帰ってきたのであります。

*すでに異常気象の現われか。

7/15(土) 15日朝、7時ごろんと寝、10時ごろ家へ帰る。あわててクラブへ行く。当然の如く、買い出しは延期。月曜日の10時ということになっている。そしてワングル部員憩いの場"Ω"へ行く。間所、奥名、宇野、田中正、清家、増田、三宅氏ら・・・その後、清家宅で増田、三宅氏と積む。ポロポロに沈む。

*白山合宿トレ延期、即ギャンブルか。

7/17(月) 10時ごろ部室に行く。Leaderの間での話し合いがおこなわれていた。間所氏ははじめ行かないつもりであった。11時すぎに行動することに決定した。そして買い出し、packing。オレは重量が20kgくらい。明日は7時出発である。おばさんがおにぎりを作ってやろうといていた。夕食にビールをコップ2杯もらう。

7/20(木) 天気は上々。顔が真っ赤になった。よう焼けた。御前峰からのながめもよかった。さすが・・・っ。明日から帰省しようと思う。25日くらいに来るつもりである。帰りにジュネで奥名様にビールをおごってもらった。

*結果として全パーティ砂防、南龍の同一コースとなったと思う。

7/25~26 A. M. 11:00より買い出し。P. M. 7:00間所宅でコース説明会。A. M. 0:00例によって4人が残る。ああ、こんな時にまで麻雀やってもよいであろうか。A. M. 3:00奥名氏に乗せてもらって彼氏の下宿に到着。A. M. 11:00帰宅。そしてP. M. 2:00バックキング、割合早かった。35kg前後になる。そして矢津嬢に運んでもらう。そして渡辺Partyを盛大に見送る。明日の朝5時には松縄、宇野氏ら、そのあと我々、三宅、坂尻氏らがゆくのである。

*コース説明会とはどんなことしてたのか。特に飲んだとも書いていない。



8/4(金) Member P. L. 間所新一 S. L. 中野淳一
4 矢津早苗 3 奥名正啓 2 清水美智子 1 大森克成 平井幹男 堂野外巳明
恵比寿泰子 帰ってきたぜ。一番よかったのは薬師や黒五からの水晶、赤牛らの眺めであろう。槍も人が多い。去年はほんとうに少なかったと思う。スタンプもたくさん押してきた。大天井では雷、風、雨でやられて、小屋へ避難した。素泊まりで1000円である。大天井では水がなかった。中房から有明まではtaxi。この方がバスよりも安くあがるのだからおもしろい。

8/5 P. M. 1:00 PARKで反省会。その後4人で公園下クラブへ行った。

*水晶は翌年めざすことになる。

8/7(月) A. M. 10:00より反省会。P. M. 2:45終了。その後、大森と2人で合宿の装備の整理。平井と恵比寿と堂野の奴等、何をしてるのか。P. M. 7:00山内宅で2年生meeting。酒飲んでペチャクチャ。0:45帰る。

*全体の反省会かどうか覚えていない。

8/10(木) スタア劇場へゆく。そして10時前に帰宅。久しぶりの天気図をとってやった。川端のやつシュラフとザックを取りに来なかった。おかげでズブ濡れである。部室へ行ったら赤牛P. W. の準備中であった。

*状況からすると夜中にシュラフとザックを部室まで持って行ったのであろうか。

8 / 13 (日) 部室へ計画用紙と南アのアルパインガイドを取りにいった所、ちょうど高村氏をLeaderとするトレッキングの連中が帰ってきた。沈殿、沈殿で予定は大失敗だそう。現在、白山には上馬、南保、間所氏と川端らも入っているが、ほとんど沈殿だったらしい。

* 南ア北部P. W. のため少々勉強しようとしているらしい。

8 / 15 (火) 毎日、毎日暑い！午後部室にてブスや装備の点検をやった。点検の最中に焼きそばを作って食べた。田中正がやってきた。おれは30円しかなかったが、彼のおごりでみかどへ行ってミルク小倉フラッペなるものを食べた。それから彼のパチンコを見にいった。4時30分頃から部室でごろんと横になった。5時すぎだったか、川端が白山から帰ってきた。オレのザックとシュラフも持ってきた。中野との連絡がとれないので、川端に残りの地図も借りることにした。明日は買い出し、パッキングである。東京ストアで買うらしい。

* 8 / 10と関連して、私のシュラフ、ザックを貸していたのか？P. W. の記録をみても川端が白山へ行っていた事実は見つからない。地図はもちろん南ア。

8 / 17 ~ 24 南ア北部P. W. = ナポレオンのためのP. W. 塩見一山7000円。同じコース往復。Member 西村、増田、三宅、亀田、大森
24日 茂六にてP. W. のコンパ。その後オリンピックへ。

* パーティ名はオールド。8 / 20、21と北荒川で沈殿。5分の1ほどしか消化せず下山。テントの中でトランプばかりであったが、まことに楽しいP. W. であった。亀田、大森と共に翌年再挑戦。



メンバーは3回生3名、
2回生2名、1回生1
名。うち最年長が1回
生という訳で「オールド」

8 / 26 母からの手紙。「ポルの死」「俺の友人が一人減った」

* 小学5年のころより飼っていた愛犬のこと。いつまでも野性味を失わなかった犬であった。信頼できる、自然につきあえる友であったなどと述懐している。先祖の墓参りもかねて9月2日に帰省。

9 / 4 (月) 帰りに部室へ寄ったら、増田氏がいて、明日バイトをやらないかといわれて、なんなく承認した。彼の下宿へ12時ごろ行けばいいそうなのである。

9 / 5 (火) 12時ごろ増田氏の下宿へ行く。迎えの車が来ない。ぼんやり待つ。2時前に来た。そして内灘のほうへ行く。ソフトボール大会のテントの撤収であった。重たいテント、ポール、イス・・・。5時前には終わった。しかし、テントやポールは返却せねばならないので、1時間ほど車に乗ったりして、やっと6時に終わり、上諸江からバス、バスで帰る。

9 / 6 (水) 物理実験では中野と共同であった。終えて部室に立ち寄る。北川隆次が一年生4人と2年生3人におごる。"みかど"へ。The 3th 白山ベルクハイムP. W. のMemberが決定していた。高村、増田、金森、渡辺(和)である。現在の

(懐い字体と緑の線した PW 計画書 コース概説の一部)

仙人岩岳～大笠の鞍部にも池塘があるとのことである。
 この付近も東面が切れていて、尾根上げがかなりの灌木の叢である。
 奈良岳直下で二重山稜となり、ルートを取り手がむっかしいようだ。
 奈良岳の最後の登りもかなりきつく、ルートも取りにくい。大笠から
 奈良岳頂上迄4～5時間だろう。頂上に出ると一度に南に河内
 村へ続く道が延々と連なっているのが見える。又、頂上には夏新しい
 白い道標が立っていて、我々がPWの白山研究会の道標もある。人造
 のキノコ場迄作りつけてある。もちろんテントは張れる。
 見越方面へ向うとすぐに道はなくなり、背おも高い笹になる。
 その笹叢も見越山直下で消え、足元は浮石の多い、岩場のくすねた
 様な感じになり、ずつと歩きやすくなる。奈良岳から見越山南峰
 迄1時間。南峰は大門方面への尾根との分岐となっている。
 傾斜しているが、テントのはれる位の土の露出した所がある。ここにも
 白山研究会の赤い道標が付けられている。
 さらに中峰、北峰と進むが、一応3アトが所々あるが、中峰
 の下り、北峰の上部付近及び下りは荒れ方がひどく種々の叢が
 入り混ざって、ルートを取り方がかなり難しい。南峰からワニゲル平
 迄約2時間。(ワニゲル平とは…数年前の山小屋作業で登山道整備中
 に作った基地で場所は、1/2.5万「西赤尾」の地図で、高三郎山と見越山
 の稜線上で見越山の北西側直下の1380mの少し広くなった非常に小
 い鞍部。6人張る張位の広さがあり「水有り」との柱がある所を下れば
 2～3分で小さな沢に出、更に2分位で大きな沢に出る。水量は豊富。
 水場へは足場を切っている。ワニゲル平に取って天国のような所である。)
 ワニゲル平手前5分より、いい道がある。(今年は更に延びるだろう。)
 ワニゲル平からほぼほぼ水平に近い道となり、程度西側に巻きたまから
 高三郎山の五峰へ登る。あと五峰を越せばもうI峰である。
 高三郎山I峰迄、ワニゲル平から2時間程である。

以上

文責 高村

資料は、大次白山-Bergheim PW (長森幸三さん)
 横浜市大 WV 部、長岡正利さん
 トリイケスポーツの田さん 等々と、筆者自身
 の経験によるものと、推測である。



(蒸し胸や竹の可₃X=2-2₂)

食料計画

by Chief Cook Shimizu さん

	朝	昼	行動力	夕	ミーティング
金一 基助		マ-7100-113	ア×1	スチアチ 7'72009 ハフサイ 1-2キ 赤コン 1 コ-47-71	紅茶 菓子1
金一 基助	ミソ汁 ワカメ 7407 1/2	パンの角 1/2 シヤム 1	ミユ-ス 1/2 レモン 1 ア×1 クミン 1 L-2ス 1	カレー 7'72009 L'740112 2. 3キ 人等 1 カ-27 テ-ド	紅茶 菓子1
金一 基助	ミソ汁 3. フリカケ 1/2 ミソ汁 1	パンの角 1/2 ワカメ 5 シヤム 1	ミユ-ス 1/2 羊かん 1. 日0.03 クミン 1 キアミル 1	ビーフシチュー 7'72009 ミユ-ス 1. 3.0キ 人等 1 日0. 343.0	紅茶 菓子1
金一 基助	やきめし ブルーチーズ パン 100g	ハイライト 5	羊かん 1 サブレ パン 1 キアミル レモン 1	缶めし モヒス 茶	紅茶
金一 基助	やきめし 67 茶 ソーベ- 1	豆乳パン 5 マ-マレード 1	4ヨコ 1 ア×1 ハクシ L-2ス 1	モヒ 5x5=25+ マ-マレード	紅茶 菓子1
金一 基助	やきめし 67 茶 ソーベ- 1	豆乳パン 5 マ-マレード 1	パン 1 ビヤツト 羊かん 1 レモン サブレ 1	ラ-メン 12 茶 ラ-メン 5 未58 ソーベ- 1 3.0キ	ココア 菓子1
金一 基助	やきめし 67 茶 ソーベ- 1	玉子パン 5	3キ サブレ 1 サブレ パン 1. 1. 1. 1. 1. 1. L-2ス 1	やきめし 67 ブルーチーズ パン 1	ココア 菓子1
金一 基助	やきめし 67 茶 ソーベ- 1	玉子パン 5 シヤム 1	パン 1 レモン 羊かん 1 ア×1	飯と味噌 かん 1 L-2ス 1	お好み焼
金一 基助	やきめし ココア 1 ソーベ- 1		キアミル 1 サブレ 1		
予備 1	茶漬 モヒ 1 L-2ス 1	4パン 5 シヤム 1	サブレ 1 キアミル 1 パン 1 レモン 1 L-2ス 1	やきめし 茶 ソーベ- 1 ラーメン	紅茶
2	ミソ汁 茶 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10.	4パン 5 マ-マレード 1	羊かん 1 ビヤツト クミン 1 キアミル 1 ア×1	4キアミル 1 パン 1 ア×1	紅茶 菓子1
3	ラーメン 6 ソーベ- 1	4パン 5 マ-マレード 1	豆乳パン 1 5キ 3キ サブレ 1. 1. 1. 1. L-2ス 1	缶めし 茶 缶めし 1. 2.	紅茶
4	茶漬 モヒ パン 1	マ-マレード 113 シヤム 1	ラッシャー 1 羊かん 1 ア×1	パン 1 パン 1 パン 1 パン 1 パン 1 パン 1	ココア 菓子1
5	ミソ汁 ワカメ 123.0	マ-マレード 113 マ-マレード 1	サブレ 1 4ヨコ 1	パン 1 パン 1 パン 1 パン 1	ココア 菓子1
非常食	お好み焼 5 ハチミツ 1	お好み焼 1 スライス 150g	予備用	茶 1 茶 1 茶 1	紅茶

三方岩以後
水1.7倍の
水の量に注意

2.5L

2.0L

4.6L

4.4L

1.5L

5.4L

5.4L

4.8L

計30.6L

米 2.7 升 (一人朝 1.0 合 夕 1.5 合)

米 1 升

- ・ 大秤内は三方岩岳へデボしておく。
 - ・ 大秤の向の一日分はバルクハイムへデボ。
 - ・ 予備食 1. 2. 3 は三方岩出穂後の予備食。
 - ・ 右欄の水必要量の計算規準
- ① 200cc/人 茶 100cc/人 やきめし 160cc/人
 ラーメン 350cc/人 紅茶 100cc/人 米の水の量 1.5 倍。

所、部室には P. W. の大盛り。思い出せる所をあげてみると、まず、白山ーベルクハイム、上高地、秋の白山、常念山脈、朝日連峰、森本川、八重山、五箇山、八ヶ岳、それに山小屋作業と非常に多い。

9/7(木) 午後、専門さぼる。間所氏とミカドへ。その後、増田氏とル・シャトウへ。バイトの金入る。5時より白山ーベルクハイムミーティング。食料係になる。だからだした話で頭に来た。軽量化をはからねばならない。それに8泊9日、予備日5日という長さ。最大の山行になるかもしれないと増田氏もいったよ。

*どうもミーティングは苦手らしいが、義務感はある模様。

9/8(金) 体育の時間。またもや当てられなかった。3時25分ごろより始まって、4時10分ごろ終わった。信じられない。5時より2年合ワンの meeting。食料の係に啓紀とともに指名された。

9/12 今日、オレは大 shock を受けた。とうとう言われた。下宿を変われと。朝は遅いし、晩も遅い。がっくりきた。来月までに何とかしなくてはならない。田中の所が3畳であいているという。これから相談に行ってくる。

9/20(水) きょうでやれやれ物理実験が終了した。12回の実験をやったが何の成果も残らなかったようだ。5時過ぎから P. W. の Meeting。そして電々に飯を食べに行った。高村氏が言っていた。もうすぐ新トレじゃないかと。そうもうすぐである。俺達2年生が Leadership をとらなければならないのである。

*自分には Leader はつとまらないだろう
などと述べている。



9/29(金) 一応試験終了。中野、藤野、松平とで cherry へ。そして9時ごろから引越す。まあまあ落ち着く。

*文章から判断すると9時とは夜の9時か。小立野1丁目の下宿の3畳の部屋に入った模様。後に部屋はかわるが4年半ここで暮らす。

10/1(日) 朝6時30分部室へ。1年コンパの残留党が数人いた。着替えて橋場へ。7時47分のバスで二俣へ。車掌が切符を2枚くれた。1枚もうけた。さてトレーニングであるがきつかった。地藏峠まで。ほんとうに初体験のブッシュ。もうふてくされて歩いていた。地藏峠までゆくと、国見、黒瀑、蕪岩等がよく見られる。地藏峠から1ピッチで見上。バスのなかではねむい、ねむい。そして部室ではしばらくぼけっとしていた。山小屋作業はパッキング完了であった。

*9/30に中野宅で2年生10名ほどでコンパらしきものを催しているが、珍しく私は飲まなかったとしている。増田氏、風邪気味で不参加。

10/2(月) しかし今日の買い出し packing は疲れた。みんなもそうらしい。それで明日の出発は明後日になった。頭が重い、熱があるようだ。明日のうちに少しでも快復にむかわなければおれはアウチか。アウチにはなりたくない。オレは燃えている。

*高村、増田氏は松林氏と共に9/28~29に三方岩岳へデポに行ってもらっている。私だけでなくみんなも疲れており、この時点で10/4出発になっていたのですね。

10/3(火) 何かとごたごたして、大手町病院へ。高村氏に金を借りて1650円。注射1本と薬4日分。少しは楽になった気がする。熱がないのに(36度4分)のにあるように感じてしまう。結局、明日出発ということになった。

*明日の出発を前に全員の体調もギリギリの所で持ちこたえたよう。現在私の平熱は35度4分くらいで微熱はあったのか。

10/15(日) ほんとうに大 P. W. 。兼六園下から始まって一周してまたもとの所へ。坂尻氏らともワンゲル平であらう。Bergheim では山田氏の差し入れの酒。8期生の old。西村、上馬の各氏にも出会う。ほんとうにがんばった P. W. 。しかし今日はよく走った。ダムから駒帰の少し前まで。部室に誰もいなかったのが寂しい。北川がコ

ーヒーをおごってくれた。川端がおっこちたらしい。Bushはえらい。笈、大笠、仙人窟・・・。分速8m。水は100cc。熊の巢平、岩底のキレット、奈良岳池塘・・・。大笠のピーク直前で目をついてしまった。現在充血中である。ヘルメット様々の感じであった。明日の発表、さてどうなるか。

*沈殿2日を含む1泊12日。発表とはもちろん試験結果であろうが、16日は日記もつけておらず。

10/24 運動部委員会にmanagerの代理として出席した。

*??

10/29(日) 土曜日は総会があった。間所氏が予想どおり部長に立候補した。きょうは、引越しをした。さすが8畳、だだっぴろい感じがする。

10/31(火) 実験をいい加減にすませて中野とともに部室へ行く。果たして2年Meetingあり。食料系のチーフだ。明日は工学部の運動会。といっても俺は買い出しにゆかねばならない。

*工学部の運動会には、三悪競争(酒を1合飲んで、タバコを1本吸い、麻雀牌を積む)というのがあり一度参加したことを覚えている。

11/1(水) 買い出しをする。そしてバックングらしきものもする。我がクラブの新執行部ではオレを装備係として用いるらしい。あまり乗り気じゃないがな。しかし、例外と体がもつ。たった睡眠2時間であるのに。

11/5 3日~5日 2年合ワソ。俺の最高最大の悪乗り山行になるかもしれぬ。食料係としてのチョンボもあり。前高三郎まで富大の織田君と2人だけで行った。

*少し羽目を外しすぎたようだった。我々がワンデリング中に他の人は何をしていたのだろう。もう1人氣のあった福大の平川君は後に再登場。

11/11(土) P.M. 3:00より総会。間所氏の新執行部の方針が打ち出される。俺は装備係に任命された。P.M. 9:00まで長びいた。

11/15(水) 2年Meetingへ行く。法文校舎の4階に部屋をとった。6時から9時までまとまりのない話をして終わる。

*この辺りのMeetingは冬山関連か?

11/18(SAT) P.M. 5時すぎより歓送登山つぶれの残念コンパなるものが、旧生協の一階でシートをひいて催された。あれが4年生を送るという感じのコンパであろうか。追コンとまったく同じ形になったようである。20人ばかり香林坊へ行く。一方は金森、もう一方は亀田が肩をかしてくれた。1時間半ほどいたらしいが、そしてこんどは、一方に小林、もう一方に亀田。小谷氏宅へ17人ほどのりこむ。

11/19 午前1時ごろ1年生は全部帰った。残りは、牧野、大田、今村、松林、宇野、井上、小林であった。井上はそうとうにまいている。その後、小谷、辰野、岡崎、松縄氏が来た。松縄氏宅にとめてもらった。12時ごろ帰ってくる。あまりにいい天気なので工学部の4階まで登って、白山、高三郎、大門をみる。

*まずは宿主不在の所に上がり込んだらしい。工学部から白山見えましたっけ。

11/26(SUN) 昼過ぎより本部へいってみる。かなりの模擬店が立ち並んでいた。めざすは"Z"。50円券でコーヒーとシュークリームをいただいた。部室へ行く。誰もいない。しばらくすると井上徹と能美。金が200円しかなかったので井上に500円かりる。即パチンコ。少々でた。5時すぎ井上にあったら金を返そうと思いついていくと、ちょうど出会ったので返却。部室に行くと岩田氏、鈴木氏、それに高村氏。岩田氏に最近おまえは顔をあげたなあといわれた。

*やっとみんなに名前を覚えてもらったということか。

11/29 (WED) 午後さぼり。というのはいつものことであるが、ウィンパーの注文のため寸法をはからねばならなかった。井上徹と小間の2人で援助してもらって無事完了した。ホリイケまで注文しに行った。予算は7~8万円である。

* ウィンパーはオーダーメイドだったのか。

11/30 (木) 電磁気演習を終えて(何のことかさっぱりであったが) Leader 会へゆく。最近寺口によく乗せてもらう。6時20分ごろであったろうか。うまく予算にでくわした。各係の予算案の話が続く。だんだんと人数がへり、最終的に残ったのは間所、高村、西村、石田、宇野、南保、川端、山内、中野の面々。終了は師走一日午前零時。信じられない。

12/2 (土) 午後、総会。執行部の連中も頭にきていたが、俺も頭に来た。ほんとうに出席者が少ないのである。特に1年生だらうか。冬山の参加者もあまり増えていない。総会が終わって、塚本と北川と3人でホリイケへ行った。そこでピッケルを注文し、ロングスパッツを購入した。まあ、一応格好はつくのではないか。井上徹に装備のサブをやってもらうことにした。明日午後より部室の整理を行う。北川もやってくるそうだ。ほんとうにありがたい。

12/9~12/11 (月) 荒島岳初冬 P. W. 南保、田中正
9日、中野宅に正と行く。金沢駅、午前2時33分発、急行(北国)で福井へ。そこで3時間ばかり待ち、6時45分発越美北線に乗る。7時34分勝原着。快晴になってしまった。睡眠不足のおかげで腰が痛い。死にそうになってしゃくなげ平に着く。12時15分ごろ。そして昼飯を食って、いざやワンデリング。1時間ほどで荒島岳ピーク。荒島という山、かなり見せ場がある。さすが日本百名山の一つ、独立峰なのである。ピーク付近は雪もしまっているし、エビのしっぽが非常に多い。真っ青の空と真っ白の雪山。夏テンを張る。次の日7時40分起床。またもや快晴。10時40分出発。スキー場に着いたのが12時30分ごろであったろうか。1杯70円のインタントカフェを飲む。13時46分発ので福井へ。これからが大変。「平川」をよんだのだ。彼の車でまず大学へゆく。部室を見たりする。そしてバスで駅前へ。まだ飲むのは早いということで喫茶店へ。そして次第に飲んでゆく。

回った所 1. 銀座茶廊 2. 大番 3. 丸美屋 4. 寺前 5. 選挙事務所
6. あるスナック

さて大変。南保氏大悪乗り。朝日の記者だとかいって選挙事務所でインタビューしたり。また一升瓶をいただいたり・・・。汽車はなくなる。11日、午前1時55分のきたぐにに一応決める。しかしだめだった。線路のそばのあるスナックで白熱。いつまでも終わらないので正とともに北国にのった。部室へ着いたのが午前4時ごろ。一人で寝た。10時ごろからぼつぼつ人がくるので起きている。その後生協へ行って驚いた。南保氏がけろっとしていた。ル・シャトウでコーラをもらう。

* ちょうど議員選挙の投票日だったようだ。福井市内のワンデリングも P. W. の行動記録とされたのだろうか。バラバラで帰った P. W. 、これほどの予定外行動の覚えは他には全くない。

12/12 (火) 6時ごろより電々で P. W. の簡単な反省会。その後2年 Meeting。新2トレ(どんな名称になるかわからないが)のことについての話であった。何かしらまとまらなかったようだ。合宿委員会も作る時期である。塚本の話によるとピッケルは到着したようだ。明日購入してこようと思う。明日は臨時総会あり。部費半期分1200円を払わなければならない。ピッケルを買うと一銭ものこらんで少し待ってもらおうか。

* 合宿委員会って前年から組織していたのだろうか。



12/16 (土) 部室に行く。やがて北川や英や林が来た。北川と生協で飯を食う。13:30よりウィンパー設営訓練。案外、冬山以外の参加者も多く大成功であった。その後C隊で天気図講習会らしきものをやり、珈琲館へゆく。そこでいろいろの話がでる。合宿、新2トレ。果たして俺に Leader が務まるかどうかである。

12/20 (水) 本日は冬山 attack 隊と1年生と別れてトレーニングがなされた。三宅氏のトレーニングはきいたきいた。明日は電機器のテスト。A. M. 1:00ごろまで寝た。勉強しだしたのが2時。現在5時30分。これからまた寝よう。

12/21(木) 冷たい雨の降る金沢。ウィンパーをホリイケより取ってくる。2年 Meeting 開催さる。合宿委員会結成。座長 川端。新2トレチーフ、サブ決定、中野、清水啓。工学部の学生係へ行ってトランシーバーの件を話さねばならない。明日は買い出し、あさってパッキング、その次の日出発。

12/30(土) 24~29 冬山大師道付近ついに成ってしまった20才。何かぼろぼろしている。Member C隊 P. L. 高村、中野、北川、川村、井上、橋本 冬山というより春山のような感じ。ラッセル、吹雪なし。コースタイムもせいぜい3時間。楽勝のようであった。それについている attack の日だけ、まさに快晴。ほんとうに楽しい、そんな山行。それにまちがっても、もうないような20才の誕生パーティを中ノ平の小屋でやってもらった。こんな平凡でない、考えられないようなことが大自然の雪の中で行われたのである。増田氏と奥名氏からの cake。P. L. のもってきた Hi Hi N i k k a。はじめのうちはのらなかつたけれども、いや格調が高すぎたのである。ロシア、ドイツ、フランス語の独唱が飛び出した。そして2年合ワンの掘り出し物、ジャジャジャンオウがとびだす。29日、15時50分金沢着。ブーチャンでパーティのコンパなるものあり。10時30分ごろ若葉へ行く。A隊はまだやっていた。川端が一番乗っていたようである。11時40分ごろでる。その後、俺の下宿で松岡、川端、中野、小林でさわいだり、麻雀したりした。また来年あいましょう。

*山行のことはよく覚えていないが中ノ平の小屋は非常に立派であったとの印象がある。12月25日、20才になった。



伏拝から経ヶ岳アタック。この頃はこんなに雪があった。現在の、経ヶ岳、荒島交互の冬合宿の先駆けとなった冬山準合宿。

昭和48年

1/8(月) 部室へ行ったら高村、南保の両氏居る。ほんとうに高村氏とはよく会う。高村氏は学生部のテントのことで有沢商会へ行くので俺も行く。商談をして喫茶店へはいる。そこで2時間以上もしゃべる。もうすぐ楽しい学校が始まる。医王山成人式 P. W.、何の係りもなかった。今年の正月は一滴も酒を飲まず。何やしらん今は疲れ気味。

1/10(水) 塚本が春に笈周辺やらんかという。まあやるといっておいた。新2トレも近い。新2トレの終わるまでは勉強ができないと誰かが言っていた。

1/11(木) 授業開始。いやになる。特に電磁気演習では頭の善し悪しが目に見える。6時過ぎ反省会場へ。8時すぎ終了。9時より山内宅で2年 Meeting。何やらだらだら。 全員参加、医王山 5 party、road 2 party。

*新2トレのことだろうが、roadも計画されていたのか。

1/17(水) 13~15 医王山成人式 P. W. 何かしらおもしろい面々。坂尻、宇野、高村、塚本、中野、立浪、渡辺、恵比寿。激しいラッセルを処女雪に与え、月光の下でもがいた。腹もすいた。何か冬山以上の成果もあった。さて話しはかわる。我

々2年生一同は連日朝帰りを繰り返している。今日は1、2年Meeting。完全に敗北した。

*敗北後すぐにMeetingもやっているが、個人的にはあれほどの理論的らしき1年生を連れていくのはあまり気がすまないといっている。

1/18(木) 昼12時30分起床。5時30分ごろ部屋へ。追コン執行部、増田氏、川端、塚本と共にParkへ。追コンの贈り物にはカセットテープらしい。そのためTAPEREORDERの数とか所有者とか決めて、一応追コンの概要をみた。川端に司会の事項を考えておけと。あせるなあ、司会をやるなんて。Parkに一年生がいた。話しをしたいと……。新2トレのことについて8時30分まで議論し、一応我々が説き伏せた感じとなった。

*追コンの贈り物ってカセットテープだったのか。我々の時は何だったのだろう。

1/19(金) 2年Meetingの場所移動。山内宅～中野宅～小林宅。一応member分けまで2年生としては終了した。明日の総会でも発表する。医王山、全員参加のことを。

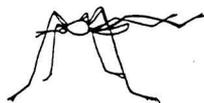
1/20(土) ネクタイしめて出勤となった。1時30分より総会。集まり悪し。新2トレのこともすんなり通過した感じ。川端と共に5時前に大和へ。テープレコーダーの設置などを完了させる。6時すぎより追コン開始。司会役……。適当にやっておく。8時すぎに1次会終了。少し後始末。執行部の連中も居残った。川端、金森、塚本との4人で走りまわり、やっと蛇の目で矢津、大田、今村各氏を見つける。20人以上いたのだろうか。10時30分ごろで、ブラブラいくと蛇の目長町店で山田、牧野、間所、宇野、増田、高村、坂尻氏ら……。金森と2人でのりこむ。そこもやがてで、エンゼルの前で川端、正、塚本と一緒に間所氏らを追う。矢津氏についていたのだが、間所、坂尻、宇野氏たちがサントリーケラーにいたためにのりかえ。川端と2人でいった。そこを2時すぎにでて広小路のオールナイトの喫茶へ。そこで6時30分までいた。のこっていたのは宇野、川端、林、井上敏、紺矢、小間、山田和。そして、宇野、井上、川端、小間、山田和とともに内灘へゆく。ねむいねむい、サッカーしたり。家へ帰ってきたのは11時前。大門、見越、奈良、大笠等がよく見えた。

*ネクタイは同じ下宿の連れから借りていったとしている。今読み返してみると、漠然とはあるが、こういう状況で確かに朝早く内灘へいった記憶が舞い戻るようです。

1/24(水) 午後は例によってさぼる。ホリイケへ行く。ウィンパーの伝票と新2トレでウィンパーを借りられるかどうかを聞く。6時すぎより2年Meeting。コースを決定。自信はまるっきりない。

1/25(木) L会出席。2年のP.L.敗北。昨日のMeetingがいかに感情的であり、弱いものであったか痛感した。コースに関して特にそうであった。Leaderという立場を考えてみるに、俺だけの力でどこまでやれるかである。コースの変更もありうる。

*諸先輩方を前にL会では十分脅かされるのであろう。



1/27~28 Meetingで少し事務的なことを決定。夜、辻田と田中の3人で飲み歩き。P.M. 11:45 at しなの A.M. 2:00 at サントリーケラー A.M. 3:30 at マリアヌ→くわせものである。在金全部はたいて逃げ出してきた。

*この新2トレに関するMeetingは初めて自分もったもので、前日には何を決めたらよいかなどを書いてある。辻田、田中は虎姫高校出身。

1/29(月) もうクラブしかないのか。5:00よりMeeting。4人しか集まらず。井上が吐きやがって貧血まで起こした。その後、2年Meeting。コース再検討。その他Meetingのことや、沈殿日のこと。英が乗せてくれた。同乗者、立浪、亀田。明日、川端と英に見上まで行ってもらおう。

1 / 30 (火) 午前中は寝ていた。5 : 30 ごろより Meeting。2年は俺だけというまことにいかなものであった。珈琲館でもふり会の話聞く。春山の事である。テストを2日後に控えているのに、こんなにのんびりしてよいのだろうか。春山の attack point は御前峰らしい。大汝でよいという声もあるらしい。

2 / 1 (木) 果たしてできず、電磁気。即L会へ。最初、春山の事。大汝か御前峰か。結論せず。その次やっと新2トレ。腹は減る減る。頭に来る。家へ帰ってきたら12時前である。

2 / 3 (土) 授業はでなかった。生協で散髪。1時30分ごろ橋場行きバスに乗る。総会の場のB8まで2人で行った。総会では春山がもめた。御前峰か大汝か。Leader会へさしもしもどしということになった。総会の後、partyのMeetingを珈琲館でやった。

2 / 12 (月) ぼやっとしているうちにもはや12日。まず新2トレの偵察が大きく控え、その後工数試験。ほんとうに不安だ。忙しい時かとも思う。昨日は白山大縦走P.W.に名を記したが、今日消してきた。山小屋作業でもやろうかと思うのである。珈琲館でpartyのMeetingと4月のP.W.のMeetingをやった。

*この間も当然ながらトレーニング、2年Meeting、L会、虎高追コンや弟が訪ねて来たりで忙しい。

2 / 13 (火) 例によって部室へ。しかし誰もいない。5時すぎにはどっと押し寄せてきたが・・・宇野氏の話によると今のP.W.は少々やりすぎだという。ほとんどが春山経験者に限定される。別山、白山大縦走、大笠・笈、白山しょうよう・・・面子をみてもほとんど同じ奴等。ああ、そうだなあと俺も感じた。皆が行けるところもやりゃなあかん。俺はまあ5月には山小屋でもゆく。新道の整備でもやるぞと思っている。ということ西村さんにもらした。一度もらすともう後へはひけないであろう。6時ごろより珈琲館でシモフリ会の話聞く。現在の状態では春山も規模を縮小しなくてはなるまい。最近のクラブ活動はなにか盛り上がりがないのではないか。新2トレもなにかバラバラ。春山なんてのはほとんど意識されていないではなかろうか。

*5月に山小屋へいったかは後の楽しみ。

2 / 15 (木) 一日中のどかな日であった。L会に出席するつもりはなかったが、俺を混ぜて人数がわずかの6人。ミカドで開かれていた。いまなお春山はもめる。現在の状態では4PARTYは確実。昨年のような形態にはすまいとして、いろいろ問題がでてくる。明日は偵察のためいろいろと準備しなければならぬだろう。それにアイゼンの件でホリイケまで行かねばならない。クラブで3台、坂尻氏と中野、それに破廉恥にも俺の分も、計6台注文する。

*どういふ内容か思い出もしないが、春山というのはよほどもめていたようですね。

2 / 16 (金) 午後ホリイケへ行く。アイゼンの話。taniの10本爪6つ。アイゼンなんか買う必要無いのであろうか。6800円也。しかしカッコイイからな。ところがアイゼンはいてチョンボやっても破廉恥だからなあ。まあ、あまり使用する品じゃない。もったいないという気もする。あす偵察。工学部前から乗る。食料は井上にまかした。考えてみれば面倒くさい話だ。

*アイゼンは何回使用したか記憶にもないが、今でも朱色の極彩色のまま手元にある。

2 / 17 (土) 8 : 38 工学部前、9 : 10 芝原、10 : 10 栃尾・・・夏道の取っつきmiss。少しもどる。612Pより続くpeakへ直登。12 : 00 peak着。登り切ってみるとひどいbush。沢に行く方がよいかと思つて下る。沢は当然だめであった。13 : 00 下山決定。一応見上へ行き、時間があれば夕霧まで行くことにした。折谷でちょうど金森、山内が帰るのにでくわし、ザックだけ運んでもらう。見上着15 : 00。しかし林道はラッセルの必要あり。完全に下山と決定。金森は14個のわかんたザックを積んで帰る。医王口までトラックに乗せてもらう。部室着16 : 55。ちょうど雨が降り出す。しかし今日はしんどかった。road、roadである。井上と珈琲館で8時すぎまでぼんやりしていた。中野と小林は夕霧まで行ったのであろうか。ほんとうに今日はもう行く気はしなかった。bush、bush・・・726もまだまだ、

まして奥医王、夕霧なんてとうてい無理と思った。

* 医王山に関するいくつかの地名も今となってはほとんど位置関係わからず。

2/20(火) 今日で一応実験は終了した。6時ごろ中野宅へ行く。8時前から2年 Meeting。なんと貧弱なる参加、9名。新2トレのコース変更に関しての話。再偵察の必要があるのだろうか。

2/24(土) 非常に寒い一日。昨日は2年 Meeting を中野宅でやり、その後、中野、川端、田中正、山内、小林とで飲みに行く。そして再び中野宅へ帰り、麻雀を少しやり2時すぎにブラブラ帰ってきた。本日12時起床。即クラブへ。トレーニングと Meeting。俺の Party もかなりまあまあだし、一年の各自の体調もよさそう。明日は偵察に行こうかとも思っていたのだが天気も悪そうだしやめよう。本番ではいささか不安であるが。雪の降ることを祈る。

* 次の日にコース変更後の再偵察に行った人に会ったりして、自分は無責任かなどと書いている。

2/26(月) 10時の買い出しが11時すぎになってしまった。昼飯も食わず、4時すぎに packing 完了。その後簡単な Meeting をやる。P. L. が主に集まったの話は6時前から始まった。气象台に電話をかけた結果、明日はほぼ突撃に固まった。俺達は公園下7:09発、朝6時30分に部室集合である。2、3日前から体調がかんばしくない。便通が悪いし、今日の packing の時も全身がだるかった。明日は5時30分ごろ起きなくてはならない。

* Leader としての初仕事に非常に神経質になっていたものと思われる。

2/27~3/1 新2トレ 4班 Member 井上敏、吉田、能美、堂野、山田

* 2泊3日、折谷から二俣のコースで725付近と夕霧峠で各1泊。初日、725ピークを間違えたとしているが、その他については Leader として何とかやれたと書いてあった。

3/2(金) 反省会 at 新堅公民館。その後……。俺と塚本、清水啓が組む。広小路の茶店へ行くと井上と北川がいた。一年は6人。まず茂六へ。12,500円也。その後オリンピアへ。山田をのぞいて一年生を帰した。そしてサントリーケラーへ。虎姫のボトル No. 86と水割りやつまみ2,250円。俺はフラフラになりタクシーで一人帰ってきた。さてもう一方では中野ががんばって一本以上出したそうだ。川端は早く逃げたらしい。

3/3 本日は10時よりL会。L会終了後、間所氏にお供したが敗北。今日は下宿の先輩のお別れ式である。みるまに金がなくなった。35,000→20,000。下宿のおばさんに1,000円貸した。

3/5(月) 午後、少しばかり波に乗ってきたと思いきや、突然の川端の来訪。他人の家に泊まったらしくギターをもってきた。3時30分ごろまで弾いたり、話をしたり。4時頃部室へ。A隊トレーニング。ああ、きつい。さすが坂尻氏。目がまわってしまった。珈琲館で一年生と少し話をして帰る。外は猛吹雪。3月に入ってからより一層厳しい。まさに暖冬春寒である。8日から test。入試は終了、いいなあ。

3/15(木) 春山トレーニング。アイゼンの練習もやる。家へ帰ると驚き。峯生参上! 話を聞いてびっくり。一年間休学だそう。日本中をまわるらしい。まず俺の下宿に20日間もしくはそれ以上いて、金をためるらしい。合宿委員会があったので俺はまた出かけたが、信濃で11時ごろまちあわせてかなり飲んだ。

* 峯生というのは清水峯生(しみずみねお)君のことで隣村の幼なじみで、このときは鳥取大学の教育学部の学生。私の下宿へ飯代だけ払ってバイトしながら4月上旬くらいまでいたようだ。3/17には入試の発表もあり母校からは9名の合格らしいと書いている。

3/31(土) 73 春山準合宿 3/21~3/30 A隊
P. L. 坂尻、三宅(3)、金森(2)、松岡(1)、川村(1)

なんともはや定義のしにくい春山であった。ほんとうに残念、アタックできなかったことは。しかし、降雪による驚き。天気変化の激しいこと。また沈殿のときのポーカールの楽しかったこと。冬山や厳冬期としては最大のものとなろう。今日は反省会あり。ひとつもおもしろくなかった。その後、P. W. の簡単な Meet ing。風邪のためかもうフラフラである。

* 出発前にも鼻がつまってしまうと記している。3 / 25 に最高到達地点のシゲジ壁直下で降雪のため沈殿。3 / 26 は同地点より腰まであるいはそれ以上のラッセルでC2 からC、D 隊のラッセル救助をおおぎC2 までバック。3 / 27 は快晴沈殿。3 / 28 は春一番で沈殿。3 / 29 は大雨でズブ濡れでB. H. まで下山している。あれだけもめた春山もアタックに関しては御前峰アタックとなっていた。

以上、大学2年生もちょうど終わり。かなり抜粋したつもりですがこの分量となりました。読者の方はもう飽き飽きされていらっしゃると思いますし、今後の読者数の減少も十分予想されますが、このままでは中途半端ですのでさらにリーダー篇として継続させていただきます。



リーダー篇 (昭和48. 4~49. 3)

4 / 4 ~ 4 / 8 (日) 4月4日、峯生に野町までb y c y c l eで乗せてもらってP. W. へ。快晴、快晴、大成功のP. W. 。

Member L. 金森、三宅(4)、塚本(3)、吉田(2)、井上(2)

筈へ2度目。しかし、暑かった。すばらしいP. W. だった。疲労度もはげしい。中宮から白山下まで歩いたのはきつかった。野町駅前まで高村氏も交えて一杯。明日、反省会。

* 春山準合宿を終えて体調悪しといいいながら、すぐに出かけるのだから元気なものです。確かに春山を楽しめたと、おぼろげながら今でも実感します。工学部近くから野町まで自転車では結構かかるだろう。

5 / 13 (日) 昨日、クラブの総会が少し早く終わったので、中野、川端、小林の4人でブラブラと犀川沿いへビールをかついで真っ昼間から出かけた。4人ともいい気分になっていたようである。11時すぎに高山氏と中野宅へ面子を求めて行き、12時から4時30分まで麻雀。そして中野と松平を送って5時30分就寝。

* 4 / 11 に日記帳切れ、この日まで記載なし。この日記帳の初めの信条の所に、今年はクラブの実際の指導者であり、勉強とともに頑張らねばならないとしている。中堅篇の2 / 13 のところで5月に山小屋へ行ったかは後の楽しみと書いておいたが、日記帳切れで空白部分となってしまった。アルバムにも記述なくどこへも行かなかったのか。

5 / 15 (火) 5時30分よりトレーニング。8時ごろよりL会。帰ってきたのが10時30分。こんな生活は頭に来るのであった、少なくとも昔の俺には。最近では寝付きが悪い。4時ごろしか寝られないようだ。朝は早くても9時。30分も早く起きれば飯も食えるのであるが。

5 / 16 (水) 来週の水曜日には犀川ダムまでハイキングがあるらしい。月曜日に帰ってまた行くのか。来週はスケジュールが一杯だ。2、3年ミーティング、合宿委員会、L会、P審・・・そしてその後にはコンパ(?)、合宿結団式、果ては合宿トレ、合宿・・・なかなか忙しい。

* ハイキングとは何だったのか、水曜日は珍しくデートしているようです。

5 / 19 (土) ~ 21 (月) ' 73 新トレ 6班。Members (4) 奥名、西村、(3) 立浪、(2) 小間、堂野、(1) 横山、七間、黒田



新道取っ付きにて。
こういう所でも
「設営練習」をさ
せたんですね、あ
の頃は。もちろん
三角テント。

新トレも終わった。少なくとも俺の雰囲気は1、2年の間に伝わる。マイペースでやったまでだが。感じたことは一杯あるが書く気はしない。Leaderとしてにやにやしすぎではなかったろうか。午後は授業に出た。電磁気演習は7時まで、頭に来る。

*倉谷手前吊り橋の上でのパーティの写があるが、やはりニヤニヤしているようです。その下に、厳しく、楽しく、けじめをつけると私の方針らしきものを書いている。

5/23(水) 20時には合宿委員会は始まっていたらうか。俺の合宿コースはしんどい模様。いろいろもめて井上(敏)と一緒に行くことになった。井上と亀田がじゃんけんしたのであった。

5/24(木) 昼少し前に起きる。そして少し勉強し、5時前に部室へ行く。L会は18:00に開始。だらだらとくだらん話をして21:45終了。明日もコースの説明会などある。めんどろといえはそれまでである。しかし今めんどろといっは救われぬ。

5/30(水) L会に出席。合宿のコースをもう少し楽にせよとのこと。明日は開学記念日で休み。登山靴の修理に額団地までいってくるかな。L会終了後、宇野、間所氏としなのへ行った。

5/31(木) 額住宅まで高い金を使って行ったが、目標の店はなくがっくり来た。こうなったらしかたがない、ホリイケしかないのか。とうとう5月も終わったか。

*額団地とは誰からの情報だったのだろう。

6/7(木) L会出席。今後のL会審議内容をみても毎週せっぱつまってしんどい。なぜあれほどまでにとも考える。下宿で飯を食っていると、顔が小さくなったとかいわれた。疲労気味のせいであろうか。頭はぼうっとするし・・・。

6/9(土) 総会の後、結団式。俺のパーティは男ばかりであるし、酒豪も多そうでひどく乱れ狂ったよう。旧生協においては8時に終わった。そしてエリーへ行く。そこで事務的な話をし、次にしなのへ。茂良、徹、敏明、奥名、松岡、そして後に特別参加として中野、亀田、長田、小間。午前1時ごろ出たのであろうか。中野、敏明、松岡は俺の下宿へ来て6時まで麻雀。昨晚、最も悪のりを呈していたと思われるのが奥名氏、ついで徹かな。

*男ばかりのほうが気がらくなどとやせがまん。

6/12(火) 5人の名を載せてP. W. のピラを出す。5時すぎよりトレーニング。別にたいしたことはやっていないのに非常に疲れたような気がした。その後ミーティング。俺のパーティは早く終わった。いや、おれの頭脳から言っ、もう話が續かない

のである。

* P. W. とは南ア北部でコースは昨年と同様で雪辱戦。ほかの P. W. でもそうだったのだろうが2ヶ月半後のことだが結構早くから動いていたのですね。

6/14(木) 昨晩はL会及び白山北部主稜についての各大学に対する回答などで寝たのが5時。寝付いたのが7時で、当然午前中はサボ。午後部室へコピー原紙に書くために行く。5時30分よりトレーニング。

6/16~17(日) 第1回合宿トレ、於医王山、Member 井上敏明(3)、井上徹、堂野外巳明、松岡創(2)、井上茂良、七間一誠、田辺隆一、山村直嘉(1) 合宿トレにしては楽すぎた感じもしないでもない。1年は期待できそう。

* もはやLeaderが務まるかなどという懸念や不安は全くなくなったのだろうか。

6/18(月) 昼すぎ部室へ行く。懐かしの白山-BHP. W. 写真あり。

* 写真の現像を半年かけてやってもらったのだろうか。

6/22(金) 実験を終えて部室へ。P審である。たった3人。8時すぎ終了。久しぶりに早く帰る。明日はソフトボール大会。

* P審もメンバー不足で流会など結構ある。



6/23(土) ソフトボール大会は期待に反し3位となった。非常に疲れた。敏明宅で9時前より酒宴。12時すぎよりしなのへ。新潟大の医学部の連中とかなり親密にやる。増田、井上(敏)、(徹)、(茂)、松岡の面子。

6/27、28(木) L会。試験前夜! 11時すぎに帰る。そして少し勉強をして寝る。2時30分。朝8時50分起床。間所氏宅へ起こそうと思って行っただが、もう学校の模様。3問が確実に解けたと思う。もう今日は授業やる気なし。実験のレポートは書かなければならないし、P審もあるし。P審は19時30分開始、終了29日午前0時30分。南ア北部P. W. はやけにすんなり通った。井上(敏)にバイクにのせてもらい裏道より帰る。ありがとうよ。レポートを少しまとめたが、考察がまるっきりわからず。

6/29(金) パッキング終了6時すぎ。そして臨時L会。事故対策を残して、10時20分ごろ終わる。明日合宿トレ、いやな雨である。

6/30~7/1(日) 第2回合宿トレ、重量トレ、Member 敏明、徹、堂の、茂良、田辺、七間、山村。1年生の力強さ、かなり安心する。帰って来た日、しなの一杯やる。あまり酔わなかったのが不思議。

7/2(火) 部室へ5時30分ごろ行く。OPENのミーティングらしきものがある。チーフリーダーなんて信じられぬ。その後中野宅で合宿委員会、終了10時30分。

* 今でもそうかもしれないが、おだてられるとすぐその気になる性格のようです。

7/5(木) 5時30分よりトレーニング。増田氏初参加。相当ばて気味。途中でコーラを皆にいただく。その後ミーティングでミカドへ。あと一週間で白山、合宿もほんとうにもうすぐである。気を抜いてはいけない時である。

* この日、日本海博の前売り券を云々としている。

7/6(金) P審8時すぎに終了。川端、北川、塚本、敏明とでミカドへ。話は思わぬ方向へすすみ、しなのへ川端、塚本、敏明とで行く。最初一人頭500円のところが、敏明が持っているというのでドンドン行く。2年ミーティングの帰る途中の連中とぼったり。松岡、徹、川村、杉本、吉田、山田。盛大に飲んだ。6700円。川端が俺の部屋で泊まり。

* 盛大に飲んで6700円だったのだろうか。翌日は午後オープン説明を開き、6~7人くらいだったこと、その後総会、またオープンのパーティ分けがあったと書いてある。

7/9 (月) 試験終了後、L会へ。開会遅くなる。合宿の食料がすんで、オーブンの話。各P、L、が集まった。L会は11時30分ごろ終わる。間所、宇野氏とともに、またもや、しなのへ。2000円ばかり払われた。金が全然ない。

7/11 (水) P、M、8時30分より俺の下宿で一応、事故対策の話。出席者、田、奥名、松岡、徹、敏明、堂野、特別参加間所。その後麻雀、12日A、M、3時まで。

*事故対策なる話は2年、3年、4年でやっていたのだろうか。10日は合宿委員会でその後飲んだりして、11日の午前4時ごろより中野宅で数人が寝ている。12日は買い出し、パッキング。我々パーティは13日午前5時20分金沢駅出発、他の6パーティは7時に学校を出発の予定としている。

7/13~16 (日) 白山合宿トレ 「裏等」 Members 増田、井上(敏)、井上(徹)、堂野、松岡、井上(茂)、七間、山村

1日目 坂尻氏見送り、金沢駅5:20発、鳩ヶ湯着9:20。大野から福井大学W、V、と一緒にいる。これ以降南龍までの行程は全く同じ。鳩ヶ湯から歩き出す。ひどい暑さ。下小池、上小池をすぎ、急登にかかったところで松岡めまい。1時間ほどロス。その地点より約5分でT、S、だったので助かった。みんなバテバテの一日だった。

2日目 六本槍まで楽勝に行く。1481P、1671Pをすぎて行く。1700チョットの地点でまたもや松岡めまい。1時間ロス。ザックを軽くして行かせる。三ノ峰の小屋にやっと着く。雪渓で少し遊ぶ。川端たちは行ったのだろうかなどと思っていた。そして三ノ峰に登り御手洗池で休憩。次は別山をねらうが、七間バテバテ。思い切って登らせる。ピークでのたる。それから2Pで南龍。全パーティ来ている。ラストであった。

3日目 御前峰周辺ワンデリング。4日目 砂防~金沢。
16日の夜は沈床園で飲む。川端、中野、敏明、山上、北川、渡辺、小間、小島、大森、宇野、藤野、藤井、徹、川村。川端、大森と3人で部屋泊まり。

*松岡君はよほど体調がすぐれなかったようです。私も初日は休憩の都度、いぬむりをしていたようです。ここで初めてパーティ名を記しているが、もっと早くに決まっているのではなからうか。

8/2 (木) 7/31に夏合宿終了。悪天を予想して種池をカットした。塚本たちも一緒に汽車だった。中野たちとは折立、太郎、雲で会った。金森たちとも雲、烏帽子で一緒。Leaderとして行った合宿。歌は一度も歌わなかった。1、2年はどう受け止めたのであろう。烏帽子で台風が天気図上にあった。翌日は船窪までの一番疲れるだろうコース。午前中はもつだろうと感じ行動した。それは正解であった。2459Pで道がわからなくなった。ガスと雨。自分でも以外なほど冷静であった。30分ほど道を捜した。あと60分2ピッチで到着した。針ノ木から下山した。朝、青空が見えていた。不安になった。下山を開始した時から小雨が降り出した。雨が降ってほっとする。

Leaderとしてはどうだったのだろうか。思い返せば牧野氏、間所氏ともに立派であったと思う。俺なんてのは馬鹿なことばかり言っていたような気がしてならない。

皆よく働いてくれた。協力してくれた。各Memberに感謝したい。奥名氏も直前に我がpartyに入った。しかし中野のところの松林氏が参加できなくなったので、そちらにまわってもらった。「裏等」増田(4)、井上(敏)(3)、井上(徹)、堂野、松岡(2)、井上(茂)、七間、田辺、山村(1)

また、いかに月日のたつのが早いか。合宿を終わってみて、3年生は山場を越したような感じではなからうか。やはり疲労感というものをいつもよりは強く感じずにはいられなかった。

*合宿終了後2日おいてただ一人下宿に居て考えたことを記したとなっており、コース選択理由やコースの概要などについても含み実際は約10頁以上にわたっている。どういう状況だったのか、中野のパーティに先に水晶岳に登られたことについて、理性を失い、彼らに当たりちらしたとか、俺だったら一応高原に入っただろうなどと、恥ずかしながら子供のような言動も記録されている。歌については嫌いではありません。たぶん他の話題で事欠かなかったのでしょう。又、一日の食費を200円以下に押さえたのは立派、食カンの中は米しかなかったともしている。

8/5 3時前、駅へ行く。まず敏明たちの飯豊、その次啓紀の後立、その次北川たちの北アルプスと暇をもてあまし見送った。驚くことに間所氏も来ていた。彼は6時前には野町へ行き、白山を見送っていた。その後中野宅へ行き寝て、下宿へ帰ってきたのがP、M、6時前。中野は本日帰省予定。あーあ、皆出払ってしまった。3年生で休ん

でいるのは中野と金森と俺くらいだ。現在のところ40名以上は出てしまっている。なんとなく考えようによっては寂しい。

*合宿後ほんの数日でみんな出かけて元気なものだったんですね。当方も7日から12日まで帰省。

8/13(月) 午後2時30分から5時30分まで営林署のおっちゃんと内川ダム上流へ下見に行く。オロロもいて暑そう。8月下旬にバイトすることに決定。気楽なおっちゃんて帰りにビール1本酒屋で飲んだ。18時45分、部室で川端に会う。ミカドへ。少しバイトの話をする。

*おっちゃんの名前は忘れてしまったが顔つきなどは今もおぼろげながら浮かぶ。

8/15(水) 部室へ1時30分ごろ行く。例によって一人。落書き帳を見てがっくり。バイトの奴等昨日6時50分に帰ってきたそう。もう少しほんの20分ほど待てばよかったのだ。川端から電話があったと聞いたので、かけてみると暇だからかけたそうだ。彼はあさってから白山へ行く。いきたくないそうだが。今日は父の誕生日だ。48か49である。

*このバイトとは白山でのバイトだろう。現在、もはやこの時の父親の年齢に近づいてしまった。父親と比べればなんと未熟なことか。翌16日は一転して部室が超満員としている。



8/18(土) P. M. 9時45分。駅前シネマで一夜をあかすため出発する。明日は塩川か。帰沢は25日の予定。

*オールナイト営業は何時までだったのだろうか。

8/27(月) 南ア北部P. W.

Members 大田、塚本、亀田、大森、恵比寿、七間、尾崎
今回は非常に不調、精神的にも肉体的にも。飯が食えなかった。塩見、西農鳥、農鳥、間ノ岳、中白根、北岳と3000m級はよく走破した。だが北岳小屋においては天候の悪化と病人の発生により2日間の沈殿を強いられ、下山の日もズブ濡れで、ちょうどバスが来てくれて、金沢へ夜の11時すぎに着けたのであった。今回、非常に騒々しいP. W. であった。面子を見れば想像されうであろう。俺はただ一人テントの隅でタバコをすっていた。ますます自分が疲れてきているように思う。本当に腰周辺が痛い。寝られない時があったほどである。背骨もいたい感じがするし、このままやっていて大丈夫なのだろうか。バイトのための買い出しをやった。しかし、営林署の都合が悪く一日延期。川端と二人で間所氏宅へうかがう。勉強中であった。

*昨年のP. W. の雪辱戦である。旧メンバーは3名。タイムリミットで下山、ぬるぬる滑る下りを2ピッチで飛ばし飛ばしと書いている。よほど疲れていたのだろうか。

8/31(金) バイトは大洪水のなかで行われた。本当に鉄砲水というのか、水の中にテントがあるようなもの。30日に帰ってくる。営林署のオッチャンと若葉へ。その次ブラウンへ。川端と二人で帰る。途中、若竹寮へよる。驚くなかれ、2年のアホと宇野氏とまじえて大酒宴が始まっていた。泊ってかえる。

*内川ダム付近での草刈りだろう。昼間は川の中で手掴みで大きな岩魚が数匹とれ、焼いて食べたことから、その崇りで夜中に大雨となり危うく流されそうになったと後で話したものだ。

9/4 3日は買い出し。夜、敏明宅へ川端、金森とともに行き、一杯飲む。6時29分ポッカ隊出発。部室にてOPENの仕事やる。6時ごろLeaderにTELする。明日、6時に集まってくれるように言う。今晚は部室に泊るつもり。

*この文面からすると、オープン山行のため、4日の午前6時29分にポッカ隊が出発し、午後6時に各Leaderに5日の午前6時に集まってくれるように連絡しているようだ。

9/5~7 白山オープン登山、チーフリーダーとして参加。中野、金森、北川、

亀田、宇野をリーダーとする5パーティで一般20名、部員24名の大所帯。天気はぐずつき気味。しかしワンデリングとファイヤはどうか無事終了。あられも降る天気であった。7日に帰ってきた。グラウンドで大ナベで3杯ほど水をかけられた。終わって誰も俺に言ってくれなかった。「ごくろうさん」の一言も。馬鹿な役をひきうけたのだろうか。今一番心配なこと、それは試験が近いこと。

*白山でSHOWに出る前に、ポケット瓶1本薬に飲んでいったが、全然まわらず赤くなったとも書いている。誰も言ってくれなかったことはないでしょうね。

9/10(月) 夏休みもオーラスになった。この夏休みは充実していたか。思い出せば山へ行っているか、ポケットとすごしているかどちらかであった。夜、間所氏がくる。大学院は通るらしいとのこと。月日の流れのスピードに感嘆しているらしい。本当にそうだ。部長に就任してもう一年になろうとしているのだ。所信表明演説から約一年。冬山、春山、夏合宿と大きな行事があったが、それもすべて終了。10月からは、もはや俺達3年がやらねばならなくなる。明日から学校である。

9/11(火) 実験を適当に済ませ部室へ。何とたくさんのP.W.の掲示。しかし3年生は活動していない。俺もどうしようかと思う。

9/14(金) 川端とともに営林署へ行く。手取り7058円也。3年コンパはなし。

*お役所のせいかバイト代の支払もけっこう遅かったのだろうか。

9/19(水) P審。馬鹿らしくも終了が20日午前0時すぎ。坂尻、増田氏らと食事を取り、バイクに3人乗りで坂尻氏の下宿へ。そこで3杯ほど冷や酒を飲む。そして帰りがけに辻田の所へ寄り、車で香林坊へでる。家まで送ってもらう。5時前。

*3人うまく乗れたのだろうか。たしかシルバー風のバイクではなかったでしょうか。この週も過密スケジュールで、17日P審、18日9月総会、21日またもやP審となっている。

9/22(土) 山内宅で合宿委員会。部長は川端と決定。10月8日にミーティングをやって、その後合宿委員会解散コンパなるものを催すらしい。川端が俺に言った。副部长たのむ・・・。なんとか執行部で力を合わせていけば義務は果たせるであろう。

*大体は頼まれると断れない性格である。

9/23(日) 午前11時ごろよりP審。

ほんとうによくやるよ。しかし、1年にわたって参加してきたP審。ここで審議は終了した。あとは報告だけとなった。

*日曜も祝日も当然ながら関係ないのですね。



9/26(水) 電気回路の試験。2年生と一緒に受ける。できたようでできていない。できていないようでできている。そんな感じ。

10/1(月) 午前11時、珍しく宇野氏に起こされた。電気機器のことでの話である。マウンテンでコーヒーをいただく。夜、塚本よりTELあり。そういえば、はじめてP.W.の連絡先に指名されているのだ。明日出発して5日に帰る予定らしい。

*宇野氏へは私から試験の情報を提供していたのだろうか。このP.W.は尾添尾根か？

10/2(火) 夜、7時ごろ間所氏が来て、梨と栗をいただく。坂尻氏と共にハツ岳P.W.の見送りに行くそうである。早く試験終わらないか。あと、水、木、金、土である。

10/3(水) 6時30分ごろ帰ってくると、玄関に汚らしいズックがあった。川端だと思った。やはりそうであった。冬山や春山の話の少ししていった。2人で一応、L会、P審、各係等の面子の振り分けなるものを考えてみた。川端は確かに考えている。俺は思考力が弱いのだろうか。申し訳ない。彼は明日より山小屋作業へ行く。

10/8 3時すぎ部室へ。3年ミーティング開催されたのが山内宅で4時すぎ。冬山の話とか方針とかでもめて途中で夕食をとり、終了が9時すぎだったろうか。執行部で考えなおしてある。その後、川端、金森、中野、敏明、小林、山内、亀田とで香林坊へ。適当な場所がないから結局しなのへ。皆、俺の下宿へ来ることになった。中野、山内、小林、敏明は朝まで麻雀やとった。あとの4人はおとなしく寝た。

10/12~13 執行部集合。川端宅へ。いろいろ考え、山内を交えて5人にする。山内宅へ。間所氏宅へ行くつもりで小立野へ。間所氏不在。俺の部屋で話す。12時過ぎまで。冬山自由参加、スキー準合宿。春山準合宿とスキー、そしてP.W. とのかねあい。・・・話はまとまらず。15日P.M. 1時部室集合。

*毎年、もめる内容は大体同じようなものだったのだろうか。しかし、場所をいろいろ変えてやっていたのですな。

10/20(土) 昨日は最終P審。驚くなかれ終了が午前3時。それから香林坊の宇宙軒で飲む。朝6時30分帰る。午後1時30分に起きて学校へ。総会である。副将となる。総会は6時30分終了。

*報告だけのP審のはずだが長くかかっているようだ。

10/22(月) 山内宅で新執行部の密談。木曜日が年間方針発表である。例によって帰宅は23日午前2時すぎ。少し英語やる。午前4時眠る。

10/25(木) 総会あり。9時30分ごろ終了。川端が結構うまくやったし、質問もそう手厳しいものはでなかった。前執行部の人々の最後の一言はそれぞれ味があり、しみじみと聴いた。これから執行部でやっていくうれしさと憂慮が交叉している。現在、これでよいのかと思うくらい話し合い等がない。

10/29~30 L会へ8時すぎより歩いていく。15周年の話などをやっていた。10時30分ごろ終了。その後、間所、高村、石田、山内、井上(茂)、横山、坂井とで若葉へ。1万3000円だったろうか。その後我が家で麻雀。下宿のみんなに迷惑かけたろう。15周年の話だが俺も参加すべきだろうか。総数70名以上にふくらんでいる。電磁気第2は不可であった。がっくり。明日は運動会、どうするか。

11/1(木) 4時半ごろ部室へ行った。15周年記念山行で盛況であった。そんな集団の中でぼつんと一人居た。最近では部室へ行くのにも億劫であるような気がする。増田氏と二人で話していた。今、自分がやる気ない、いやその任務の大きさに圧倒されて、身動きとれないようなことをつぶやいた。増田氏は慣れてしまえば・・・といていた。5時30分ごろから奥三方のミーティングがあった。メンバーは9名となった。内、女子3名である。その後、瑛りで川端、金森と3人で執行部の話。山内は15周年、中野は風邪で寝ていた。

*断れなくて引き受けたものの、やはり神経質になっていたのだろうか。11/2は部室で写真展の手伝いをしたと書いている。

11/3(土) 朝10時30分ごろ突然父と母との訪問を受ける。手紙を出したそうだが届いていない、奇々怪々。まず本部へ。15周年を見送った。3人で兼六園~香林坊~武蔵ヶ辻~駅と約6時間かけて歩く。いろいろの話をしたが、感傷的になりすぎるので書かないでおこう。弟が金大へくのはほぼ確実か。今ごろベルクハイムでは各自が痴態をさらしているのだろうか。

*後に15周年は前執行部が俺達に任せたものと、少々怒りを込めて書いている部分がある。

11/6(火) 6時ごろより電気科のコンパ。その後山内宅で執行部のミーティングのため向かった。途中で間所氏と電気課の男3人に会い、若葉へ。9時すぎ山内宅へ。不在。部室へ。不在。中野宅へ。不在。どこでやっているのだろうか。いやになって帰る。

*かなりの距離を歩いて移動しているとすれば元気なものである。

11/7(水) 久しぶりの快晴のような気がする。青空の暗いほどの色彩が晩秋の山々を一層鮮やかに浮き出している。山へ行ってみたいとふと感じた。午後、実験はなか

った。家で寝て、風呂へ行ってからL会へのぞんだ。歓送は日帰りで医王山ということになった。そのチーフリーダー。冬合宿は奥三方周辺。そのChief Leaderもやらなければならないようである。忙しい感はまぬがれない。

11/8(木) 午前中サボる。午後川端と香林坊をぶらついてた。5時30分より第1回P審。初冬白山などは何を言ってよいやらさっぱりであった。

11/13(火) 執行部でのミーティング、珈琲館にて。11時になって閉店締め出し。中止にする。冬山のことを金森、中野と授業中話すことにして……。山内と帰りにしなのへ寄った。帰ったのが2時すぎ。歓送のことやらで眠られず……。

11/14(水) 1限目からしんどくも出席。2限目、金森、中野と話。そして部室へ。帰ってきて実験。すぐにL会へ。このL会が予算……。歓送……。等でもめて、終わったのが木曜午前3時。2年生とタクシーで帰る。

*授業中にどの程度の打ち合わせができたのだろうか。本部と工学部を行き来して精力的にやっているようだ。さすが疲れてタクシーを使ったか。

11/15(木) 11時30分、学生部へ行く。他の4名はすでに出席。———この4日間ほんとうに疲れた。体のあちこちが痛い。明日、L会、次日、総会、……。歓送と。

11/16(金) 一限目サボる、製図というのに。L会開催。帰ってきたのが11時20分である。冬合宿についてもめた。スキーとのかねあいである。春山も昨年ほどの規模は無理であろう。

*本当に午前中から夜中までやっていたのだろうか。例によってもめるシーズンの始まりか。

11/17(土) 総会は6時すぎ終了。俺はあくせく働いた。7時20分ごろより旧生協で歓送宴会。9時すぎ解散したらしい。いつもよりひどく酔っていた。階段で尻を打っていたい。南保氏、吉田にかかえられてオリンピアへ。川端、中野、高村氏、松下氏、鈴木氏も一緒だった。着くと坂尻氏、宇野氏その他大勢がいたと思う。すぐに寝た。11時前に出され川端、中野に送ってもらってタクシーで下宿へ。2人はしなのへ行った。

*15日はわからないが、16、17日は雨マークを書いているので、天気具合で歓送登山は宴会になったのか。



11/19(月) 寒い一日であった。トレーニングやる。火曜日はL会。水曜P審。木曜偵察。金、土、日はP. W.。発狂の日程である。

*実際には偵察は中止となり、奥三方P. W. は口三方(一泊二日)をめざすことになった。又、12月6日、13日には大事な追試が実施されることになり、荒島岳P. W. はリーダー自身から止めたとしている。

11/23 口三方P. W. Member L. 金森(3)、川村、山田(2)、横山、横井、津島、浜、桜井(1) 9:00公園下発。959の次のピークまで行く。冬山の偵察をかねていた。大快晴に恵まれる。内尾の小学校に一泊。かなりしんどいコース。しかしリーダーを開放されてかなり悪乗りしたようでもある。

11/24 午後7時30分帰る。その後、金森、川村、山田で若葉、菊へ。どういうわけか菊で映画の前売券を2枚買った。

*短いP. W. だったが非常に楽しかった。雪もかなりあり冬を迎える前のつかの間の快晴に恵まれたとアルバムにも書いてある。しかし、手元の写真では白い歯を出していないのは私だけである。

11/27(火) 珍しくまじめに授業に出席。終わってすぐ部室へ。蛍光灯がこわれたらしく、ローソクがともっていた。川端と冬山の話をしよとしたが、別にやらなかつ

た。啓紀と山田がOBの話で茶店へ行ったので俺も行った。

*ワングルだからローソクには事欠かなかったでしょう。

11/30(金) 冬合宿全体ミーティング。C.L.は自分であるが、夏合宿終わってみるとLeaderと名のつくプライドも、厳格さも、緻密さも、またその名に基づく恐怖も何もあったものでない。

12/1(土) 総会。3時ごろ終了。川端、金森、そして宇野氏とバロンへ。

12/3(月) B隊のトレーニングやる。川端と山内と清水とで茶店へ。最近の部の感想めいたものを話す。9時前に間所氏宅へ。電磁気の本を貸してもらう。

12/7(金) 大雪の模様である。荒島岳の連中、どうなっているのやら。

*私はすでに降りており、3年生はいないが相変わらず南保氏を中心に出かけたらしい。

12/8(土) 間所氏を十全病院前で見送った。雪が降っていた。その後、宇野、高村、井上敏の各氏とともにメンバーで積む。

12/10(月) トレーニング後、ミカドへ川端、中野、北川、清水と行く。冬合宿に関する話である。未知のコースに関する安全性等。俺がチーフとして何をやっているか。ただ名前だけいただいてぼけっとしている。結局、川端が鶴来のポリスと営林署へ行ってくれる。

*この頃よりなぜか日記を書くのもサボりがちになってきている。馬鹿な私であるが、人並みに別れというものがあつたのだろうか。

12/30(日) 冬合宿修了。今年最後の行事。C.L.として参加。やっと終わってホットする。何もなかったことが、一番確実な安全であった。
B隊 清水(啓)、大家、山田、坂井、津島、岩本、吉岡 全くおもしろい奴ばかりで、始終笑いが絶えなかった。やっぱりやりとげたという気はある。冬山としては結構厳しくもあり、楽しいものであったと思う。猛吹雪もうまい具合に一時的に止んでくれた。途中、一日だけ大快晴、なげばうそだ。我が一年生のアホなこと。2年生も頑張っていた。明日、帰省する。のんびりしたい気でいっぱいだ。山にいる間は感じなかったが、現在ひどい睡魔におそわれている。部員みんな、それぞれ良い年を迎えてくれたまえ。これで1973年の書き収めか。

*口三方で28日に沈殿している。29日に内尾のどこかで一泊(テントではない)し、30日に4ピッチで加賀一宮まで行ったとしている。

昭和49年(1974年)

1/10 11時、渡辺よりT.E.L.買い出し。P.W.行く気なし。日程、コースの変更となる。5時より冬合宿反省会。かなり厳しい意見もあった。リーダー間、またメンバーの縦のコネクト等考えなければならないこともあった。意外と楽であったという声が多い。そして楽しめたという声も多い。あんなものと思うのが一番か。

1/12~14 白い高三郎を見るP.W.(成人式) L.川端、渡辺、恵比寿、鶴田、津島

*何も感想は書いていない。

1/26 総会。その後追コン。at電々会館。1次会の後、増田、三宅、松縄、祖父江、松林、上馬各氏と3年は川端、金森、塚本、2年は渡辺、松岡、藤井、小間、杉本で田楽へ。3次会、川端、藤井、松岡で若葉へ。そこで無数の人と会う。4次会、間所氏宅。そして、増田、三宅氏、金森らも来たので、朝の6時まで俺の下宿で話しをした。現在の4年生とももうお別れか。しかし、金沢に残る人も多い。いやでも顔を会わずことができる。

1/28~29(火) 28日、朝起きて思った。春山の話のことを。中野と金森に連絡して部室へ。川端に珈琲館に來いと書き置き。金森の原案を採用。情報集めのため坂尻氏宅

へ。間所氏も来る。はじめ春山の話をしてしたが、そのうち酒を飲み始め、追コンの続き。朝の6時まで飲んだ。そしてそこで12時まで寝て、午後学校へ。春山もっと真剣にやらないあかん。

1 / 30 ~ 31 (木) 電気科3年 v s 看護科2年コンパ。いろいろと女性に声をかけてみるが・・・。夜10時から昼11時まで中野宅で積む。松岡、松平、伊豆、多賀、中野。帰ってきて寝てしまった。P審も行かなかった。

2 / 2 (土) 午後白山研のシンポ参加。その後、金森と談話。昨日執行部で話し合ったという。すまなかった。今回の春山聞いたところでは2年生が5名だという。3年生の参加も不定である。明日、川端とおち合う約束をした。

2 / 3 (日) 午後、川端と茶店で春山に関する話を少しする。同級生の協力の無さが一番問題になった。事実、俺も聞いて頭に来て、残念にも思った。P審でも一騒動あるような雰囲気である。俺のP. W. だれも乗ってくれないし、いや、1年生が多すぎてよわってしまう。P審もめんどろ。自分のP. W. おろして楽にするか。

*この時期なぜか部活動はなげやりになっているようだ。

2 / 6 (水) L会出席。7時すぎに帰るつもりが10時30分になった。昨年の執行部よりもはるかにいい加減であることは、まあ目に写ってわかる。今の3年はそういう連中ばかりだ。中でもトップが自分であろうか。明日P審。試験も間近。

*自分に当てはめて判断すると、B型人間は気乗りがしないことはあまりやらないが、一旦のめり込むととことんやるくせに、熱しやすく冷めやすいところがあり、どちらかといえば理論詰めには向かなくて感情、感覚で行動するところがある。執行部にはB型が3人いたはずだが・・・。

2 / 7 (木) P審。11時前修了。渡辺と川村と3人で若葉へ。新2トレ、春山など雑感を話す。12時30分、間所氏宅へ。大学院の話とか、一般的な生活感とかいつものように話しをする。昨日、今日とつぶれる。勉強しなくてはならない。

2 / 9 (土) 総会。4年生は今回をもって現役を去る。次の総会は新入生を交えて行われることになる。早いものである。春山の計画は承認されたものの、いろいろすっきりしなかった。瑛りでP. W. の Meeting をやり、その後執行部で話す。

2 / 13 (水) 本当に寒い天気である。昨晩は執行部でミーティング。若竹寮へ遊びにもいく。今日は午後麻雀。自分が馬鹿に見えるときもある。明日、数理統計の試験があるがなにもやらない。それに情報数学もあきらめムード。明日、P会に行かねばならない。

*P審かP会か、両方の表現で書いている。

2 / 14 (木) 数理統計は破廉恥ながら悪戯を実施した。5時30分よりP会。いやなものである。しかし、2年生あたりにいろいろと思いつきを尋ねるのもおもしろいものだ。明日はP. W. のミーティング。土曜はP会と試験を前にしてかなり多忙である。最低75単位は確保したい。

*別に下級生をいじめていたのではないだろうに。

2 / 26 (火) 23日情報数学やめる。24日夜、中野宅へ。少し勉強、半荘やる。信じられない。25日試験終わる。L会出席、その後しなのへ。3年、中野、川端、山内、2年、井上、渡辺、小間、松岡、川村、1万6000円。川端と中野宿泊。勉強すればよかったのに。26日、起きたのが午後4時。夜、テレビをみながら勉強する。

*本試は終わったようだが、大事な追試が控えている模様。



2 / 28 (木) 昨夜、不安になってか中野宅へ。本日、電子回路第二。非常に優雅な雰囲気受験。まあまあ。夜、電話する。重文は旅館にとまるらしい。父に言う、一科目だけだめだと。

* 重文とは弟のことで金大を受験した。よほど留年しそうだったのだろうか。

3 / 10 (日) 10日間いろいろあった。1日・・・?、2日・・・宇佐美氏と徹麻、3日・・・?、4日・・・徹麻、5日・・・徹麻、6日・・・P審、春山全体M、7日・・・徹麻、8日・・・映画、9日・・・帰省、10日・・・帰沢。重文の入試も終了した。

* 10日間いろいろあったと書いているが、ほとんど麻雀か。宇佐美氏とは虎姫高校の先生で受験生の付き添いきていたもので、私も教えてもらったことがある。弟は結局合格し、私と同じ金大工学部電気工学科へ入学し、以後3年間同じ下宿で住むことになった。

3 / 14 (木) 2、3日天候は冬型に戻った。最後の降雪であってほしいと思う。本日、トレーニング。すもう場までも走れなかった。体力が低下していることは目に見えてわかる。春山まであと6日か・・・。

3 / 15 (金) 少し風があったが春らしい天気であった。明日は入試の発表か。春山ミーティングあり。春山も昨年より千円アップの6千円となった。シュラフも千円アップとなっている。ザックも値上がりするだろう。どうでも良いが。井村にニッカズボンたのんでおいた。

3 / 18 (月) 春山買い出し。バスの便の都合で白山下から足。A、B、C隊によるポーラー。七倉アタック。C、L、川端、A・・・北川、B・・・川端、C・・・金森、アタック隊長・・・中野となっている。

* 以後日記は約9ヶ月の間、ぶつつりと途絶える。この春山に関する記録は少なく、アルバム内(写真もなし)にも以下のように3行程書いているだけである。35周年記念ベルクハイム誌によれば養蚕小屋の使用も前年で最後のようだし、どこでどうしたのか思い返してみても全く記憶のかけらもない。

74 春山準合宿 於 青柳新道 Members 北川、中野、渡辺、横井、坂井、井村、津島 七倉アタック成功、中野君がアタックリーダーとして頑張った。

執行部～退部～OB篇

(昭和49. 4～51. 3)

昭和49年12月2日(月)

なんと長い沈黙であったろう。約9ヶ月の期間この日記と顔を合わせたことはなかった。いろいろあった。春山は成功のうちに終わった。

- 4月・・・P. W. 中止
- 5月・・・奥池～B. H.、新トレ
- 6月・・・結団式
- 7月・・・合宿(連絡先)
- 8月・・・山小屋作業
- 9月・・・大学院受験→失敗
- 10月・・・奥池～B. H.
- 11月・・・直海谷P. W.

昭和49年5月

改築直前のBH(一代目)をバックに。



大学院の試験は大失敗だった。何せ毎日麻雀ばかりやっていたのであるから当然だ。その失敗が最近焦りを覚えさせる。

*ここでは主な出来事のタイトルのみ書き綴っている。驚くべき事にこの約4ヶ月後にはなぜかまた以下のように各内容のアウトラインも綴っているのである。まだ書き留めようという気持ちがあったのだろうか。

昭和50年3月8日(土) 今日には本当に春めいた良い天気であった。約1年間のブランクであった。もっとも前頁に少し書いておいたが。昨日で卒研も一応発表までこぎつけた。しかし自分としては半年間はたして何をやってきたのか、全くわからない。題目だけでも記しておこう。「デジタルアナログ混合回路によるフィルタの研究」
1年間をさっと思い返してみると
3月は春山であった。アタックも大成功。中野の姿が目に見えかぶ。

4月、この月はたしか疲労気味。いや、やる気がなかったのか、P. W. を中止させた。Membersには弁解の余地もない。4月の終わりに松岡と2人で偵察に強行軍で奈良岳まで行った。途中、カモシカを見かけたのが印象深い。

*中止したのは内尾～中宮P. W.

5月はじめの頃 奥池～B. H. P W参加。Members. L. 松岡、中野、横井、七間、津島、浜
1500m級の山々はもう春の匂いを漂わせていた。少々茶色の色をした、黒いゴミのようなものが付着したザラザラの雪の上を歩く。日は暖かい。風はそよ風。なんともいえない満足感である。大笠山まで行った。いい山である。それに見越山北峰からの大グリセード。見越、高三郎間は少々bushで苦労する。Berg Heimも夏休みには改築される。我々は最後であったかも知れぬ。
5月下旬 新入生トレーニングの時期。渡辺君の所で参加した。ダムより眺めた高三郎が美しかった。新道を利用してピークまでワンデリング。前のP. W. のときよりもぐんと雪はへる。ピークに少しあっただけである。あいかわらず見越、奈良、大笠、白山、奥三方、口三方等どんとそびえている。また情熱がわく。

*奈良岳で1日沈殿している。気に入っている写真の1枚がこの時の奈良岳より眺めた日の出(ちょうど立山の上から出ており、雲海と周りの残雪との調和がすばらしい)である。又、今よりも急な屋根の角度を持つ改築前のベルクハイムの姿が懐かしい。

6月は結団式である。渡辺君のパーティとあいなった。「黒平」という名であったろうか。しかし合宿中は金沢の連絡先として居残った。合宿トレの一回目、高三郎989Pには参加した。

7月、夏合宿の最中。自分はこのののんと暮らしていた。

8月下旬、ブラックとコーラをかついで雨の中一人で、ずぶ濡れになってBerg Heimへ。1日で帰る予定が毎日飲んで、食って、仕事して5日間ほどいる。オロロに苦労する。第2期より第3期と居る。

*8月18日着工、9月8日竣工となっている。昭和39年当時の約半年以上にもわたる大建設工事には及ぶべくもないが、短期集中的に全部員の参加で行われたことは意義のあることではないだろうか。私は大学院の試験を控えてあまり関わらないようにしていたのだろうが、そうはいかなかったようだ。20数年を経た今も特にパットレスを中心とした骨格部分がこれといった異常もなく現存し続けているのは、当時土木工学科に籍を置いた同期部員達のたぶん頭を悩ませたであろう計算が正しかったことを証明するものであろう。

9月、大学院試験、自分ではできたと感じたが落ちてしまう。

*試験に落ちたのは冒頭には麻雀ばかりやっていたと書いているが、ここではBerg Heimのせいにしておこうと思います。進学しようと思ったのは、今まで部活動が忙しすぎて(?)ほとんど勉学というものをしておらず、これではいかんと思立ち、何か一つでも研究らしきものをしようと思断したからです。一見立派に見える息子を前にして、金

のことは心配するなと親父が言ったような気がする。

10月、奥池～B. H. P W

Leaderとして参加。Members 村池、早川、四方、小野、藤原
山々は季節ごとに異なった様を呈する。1秒1秒にも違っている。今回は新人3人とともに実施。我ながら無茶をしたとも感ず。見越で金森、中野と出会う。ここのbushにはまいった。仙人岩と大笠とを眺めた。新しいBerg Heimに到着して安心する。亀虫の多いことにびっくりする。2年合ワンの準備とかの草刈りを手伝う。2年生が少ないのも奇妙なことである。Berg Heimでは、はでに飲んだ。しかし感心しますねえ、我ながら。

*半年遅れの新トレである。執行部もかなりオープンだったのだろうか。奈良岳登山口、ワングル平で各一泊、ベルクハイムで2泊。1ピッチ60分といい新人にはかなり苦労させたらしい。

11月、勉強の方はさっぱり。直海谷のP. W. 参加。L. 津島、川端、佐野、達磨一応、初冬といえるであろうか。959まで行く。そこで雪は30cmくらいであった。冬山がなつかしかった。改めて感じた。口三方は近くて遠き山だなあと。

12月29日 中野宅訪問。川端、金森、山内。いろいろお世話になった。栗原温泉から汽車に乗る。

*年末だしそのまま一人西へ向かったのだろう。

1975. 1月16. 17日 大学院試験、合格してよかった。

そして今3月。月日のたつのは早い。

*進学ではあるが一応卒業式にも出席したはずだが、何の感想も記録していないようで情けない限りである。これ以降約10ヶ月もまた記録なし。

今、また年が明けたのである。1976年1月の18日(日)である。

75年4月 高三郎を眺めてP. W. 参加。村池、横井、七間、渡辺のメンバー。
口三方のピークで雪盲にかかる。

5月 連休、祖父江氏、井上の3人で内尾～B. H. 13時間踏破。雨まじりの雪が冷たかった。しかし、見越山のグリセードはいつもながら良い。小屋作業の連中を手伝う。

5月31日 追悼山行参加。

7月中旬 井上と白山山行。2泊3日。南竜でツェルトかぶって板の上で寝る。次の日は御前峰の社でウイスキーをがぶ飲みしながら寝た。

*2日の夜は非常に激しい雷鳴の一夜であったと思う。翌朝、ご来光を拝みに登ってきた人たちが社の後ろで朦朧としている我々に気づかずに手を合わせていたようだった。

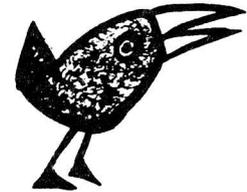
8月上旬 北アルプス山行。川端、井上の3人。リーダーとして参加。

*濁～烏帽子～野口五郎～双六～笠新道～新穂で半沈含み4泊5日。笠ガ岳ワンデリングには私は行かず、笠新道も2時間でぶっとばすなどでパーティ内に一時険悪なムードが漂った。

11月連休 1人でベルクハイムへ。この時金森らは白山へ行って飲んだんだと。俺一人ついてないか。

*同窓会のようなものをやっていたのだろうか？

12月20日 虎校追いコン。



12月29日 ワンゲル16期忘年会。金森、林、井上不参加。

12月31日 宇野氏の車で帰る。同乗者 間所、渡辺、山田
越前海岸がよかった。

*まだ北陸自動車道なるものは利用できず、ずっと8号線を帰ったのだろうか。

1976. 2. 29 (日) もう2月も終わってしまう。昨日は春一番だろうか。気温も20度まで上がり半ば狂ったようであった。卒研のほうもそろそろ大詰めである。自分の研究も題目が変わりたいへんである。大学院生の発表が23日にあった。間所氏ももう少しで金沢を離れてしまうのであろう。

24日は夜、宇野宅へ。間所、堀、山田居る。その後間所宅へ。久々に麻雀。徹マンやり朝の8時すぎから犀川ダムへ。道は除雪してあった。ダムの近くはまだ1mぐらい雪があった。天気もよく高三郎もくっきりその白い稜線を太陽に向け光らせていた。ダムの水面には雪が半ば氷のような状態でびっしりついていた。今までも行こうと思えば冬でも行けたのだろうが、今回初めて訪れたのは少し興味がある。帰ってきてテックでモーニングを注文した。

26日はこれまた久しぶりに部室へ。実は川端に会いに行ったが法文には居なかったの。杉本と兼六園をブラブラ。この日もよい天気で医王山が良く見えた。その後、珈琲館へ。松岡と1年生が居る。ここで大決断。4月のP. W. にのった。尾添尾根である。

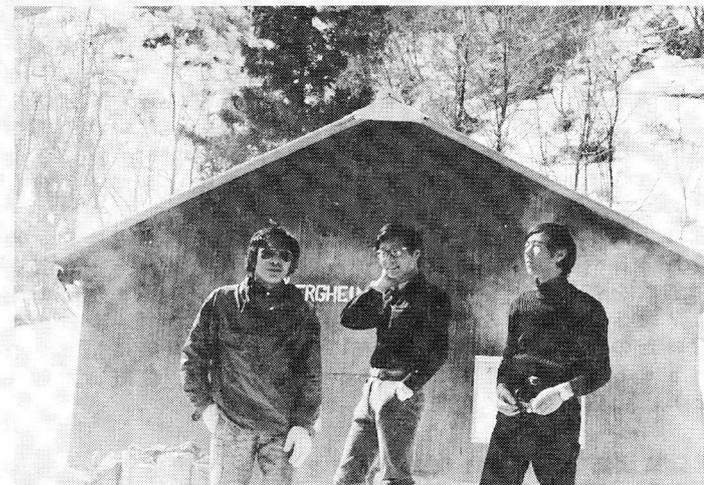
*時たまOB面して部室にも顔を出していたのかもしれない。日記は1976年3月27日をもって終末をむかえるが、この4月のP. W. に関する記録は、たとえば35周年誌などをみても発見できずお流れになったようだ。

1976. 3. 27 (土) 3月初め 大日へスキー 高嶋先生、森本、田中

3月半ば 牛岳へスキー 上田氏、森本、田中、常陰

3月13~16日 OB 春山、Members 坂尻、宇野、川端
ダム→大倉→赤堂→月ヶ原→多子津→大門→赤まきこ→見越→高三郎→B. H. →金沢
俺もよくやるよ、いつまでも飽きもせず。しかし、体調不十分。背中痛み、ひざの痛み。でも顔が黒くなっただけたくましくみえるかも。4月の尾添尾根P. W. などにのっているアホであるが、どうしようと思った。川端君とはもう最後の本格的山行となった。

*この時、写真によれば
ベルクハイム周り残雪は
ちょうど基礎石垣の上近
くまである。



3月21日 下宿の親父さんと京都までドライブ。湖西を運転。DX東寺へ行く。

*確か深夜に行ったと記憶している。今津あたりでかなり雪が降っていたと思う。

3月26日 金大卒業式。この夜、森本、上嶋と飲む。彼らが出してくれた。俺は文無しだった。上嶋は金沢にいる。森本は川崎である。その後、間所宅へ。スキー靴をいただく。雪焼けた顔が笑っていた。そう硬くでもないけれど握手をして別れを告げた。また遊びに来てください。お世話になりました。

3月27日 朝、TELがある。川端からだ。今日金沢を去るという。車で行くというから見送りにも行けない。敏明と山内が部室に居たようだ。元気に頑張ってくれ。ともに過ごした青春の思い出はいつまでも心にあるだろう。何かあいそのない別れ方のような気もするが、死ぬまでには何度か会えるだろう。その時には飲んで騒ごう。身近な4年生もみな消えた。なぜ俺はまだ残っているのか。やはり友人がだんだん減っていく寂しさを感じざるを得ない。今さら一つ一つの思い出を蒸し返すことはしない。いつぞや君たちをふと思い出し、しばらく陶醉に浸るにちがいない。君たちもそうだろう。君たちとの行動、討論、ダラ話、生活のほとんどが、みな一人一人の心の礎石ともなっていく。世の中友人が居るといふことはすばらしいことだ。

さて本日16期生の同窓会が催される。川端が不在なのがちょっとおもしろくないが。驚くなかれ中野と金森が舞い戻ってくるという。楽しいことである。塚本、英、小林、川端諸君の成功を祈る。会は6時からの予定。現在文無しで中野君に一時借りようと考えている。

*いよいよ別れの段になると何やら訳の分からない感傷的なことを書いているようです。この頃は、毎年のように同窓会らしきものやっていたのだろうか。さて、最後の2年は日記とは呼べないかもしれないが、昭和43年(1968年)より約8年にわたりつけてきた私の日記もこの日をもって完結してしまいました。ここで日記からの引用は終わりですが、76年についてアルバムの余白に山行のちょっとした記録がありましたので引き続き掲載させていただきます。

5月連休 B. H. に入る。16期はただ一人だったが、たくさん小屋に居た。残雪の高三郎へ登る。旧道下山中、この時は小屋作業の数人も一緒だったが道に迷い、20~30分立ち往生した。少々の雨、ガスもあったが積雪期、残雪期には要注意である。

7月28、29日 白山にて第2講座キャンプ。精神的苦悩の多い山行であった。上ではたくさん出会った。山内、英、敏明、松岡、長田、吉田、亀田など。

*電気科第2講座は高嶋先生をはじめとして10名。上で出会った面々はどういう集まりだったのだろう。

8月31日~9月2日 ワンゲル平、山小屋作業参加(作業はせず)

31日 午後2時、坂井と金沢出発。午後3時ダム出発、もろにブッシュ。午後4時30分新道取付。6時、分岐、ロボット観測所までワンデリング?、40分ほどロス。午後9時、高三郎一峰ピーク着。新道と旧道の分岐(知らずに過ぎてしまったが)からピークまでひどいブッシュ。いやになるぜ。雨こそ降らないが、露でズブ濡れ。二峰をふうふう登る。次は三峰だと頑張る。三峰へ着いた。ワンゲル平のテントは見えない。最後少し右へまがり、左へ登り気味に行く。見えた。午後10時40分。テント内唾然!!12時過ぎに寝る。

9月1日 昼食をとどけに行くのについて見越までゆく。冷たい雨だよく降る。

9月2日 見越頂上で奈良岳からの作業隊(横井ら)と貫通式。13時30分ワンゲル平に別れを告げる。もう完全に最後であろう。一峰まで一時間。旧道を下る。B. H. 着が17時30分。その後、坂井、横井、藤原らとブッシュのなかを帰る。ダムより車で家に着いたのが20時30分。現在、吹き出物と胃痛に悩まされている。お世話になったMembersを書いておこう。L. 村池(4)、佐野、木村(3)、栃尾、佐治、立浪(2)、山口、岩田、青崎(1)

*記録によると昭和51年度、8月28日~9月3日の夏季作業であり、夜行登山とまでは言えないが、かなり無茶をした上でおしかけていたようだ。これ以後B. H. は追悼山行か何かで訪ねたようだが、それより奥には足を踏み入れることはなかった。ちょうど20年たった96年の山小屋酒場で旧道の900m近くまで久しぶりに登ったのである。それも手に鎌を持ちながら。

エピソード

着手以来やったりやらなかったりで約10ヶ月を要してしまい、結果的には全くダラダラと綴ってきてしまいました。未発表の部分では恋愛篇などというものもできなくなかったようですが、これは読者の強い要望があれば10年後か20年後（OB会があるか、生存も不明ですが）にしましょう。初めにも書きましたが、読者の方々がほんの少しでも当時の、あるいは学生生活やワングルの共通の記憶を蘇らせていただければ、恥ずかしながらも公開した甲斐があったというものです。ただし、その場の状況によっては今からでも遅くはありませんので、筆者同様に悔い改めて懺悔をしていただければと思います。

なお、もう一度大学生活を送るとしたらどうしたいかという質問があれば次のように答えたいと思います。『勉強の妨げになるクラブ活動などにはわき目もふらず、麻雀・パチンコ・酒・タバコは一切やらず、ただひたすら学問道を歩み、単位の一つの取りこぼしもなく優秀な成績を修める』と。

最近の青年達のもの考え方や気質については私自身よく分からないが、私共とはきっと多くの面で異なってきたと思う。したがって学業やクラブ活動、バイトなどの在り方あるいは地域との接し方も変化しているし、今後も変化しつづけるだろう。そんな中で学生生活は就職までのモラトリアムではないといった考え方や単位認定の見直しに基づく大学の改革、あるいは近い将来すぐにでも来る少子化の影響などを勘案すると、ワングル活動の将来も先細り気味になっていくのではないのでしょうか。かといって私は私達の過ごしてきた時代の活動を正統化する気は全くないし、先細りになろうとも特に何もするつもりもない。私はたまたま当時の数年間ワングルに所属し、たまたま廻りにいた部員たちと活動を共にしていただけなのだから。

そして今、平成10年7月。月日のたつのは恐ろしく早い。先のことはわからないが、過去のことは思い出したり懐かしんだりできる。たとえば、これまでやってきたように日記やアルバムによっても。しかし、もっともっとストレートで実感的な方法の一つは古い顔たちにベルクハイムで会うことである。ベルクハイムというタイムマシンによってそれこそ瞬時に20数年前へのタイムスリップを味わえる。ただし、よく行っても年間1回位のことであるから私にとってもあと何回この船に乗れるかはわからないが。

完

P S

会誌の貴重なスペースを提供していただき誠にありがとうございました。読後の感想、ご意見、あるいは特に筆者の記憶の空白部分を埋めていただけるような記事などがありましたらOB会までお寄せいただければと思います。
辺（かたいなか）、留（とどまる）、俱（ともにみな）、輩（なかま）、夢（現実から隔絶した雰囲気）。

